會長　島田三郎

4—1—87

廓清

第七卷第三號

□國民と政治道德……早大教授・安部磯雄
□婦人參政と廓清會綱領……礦油會社長　高野重三
□人種問題と國民衛生(二)……醫學博士　永井潜
□統計上より觀たる婦人の犯罪(一)内閣統計官　横山雅男
□活動寫眞の調査(三)ドクトル　三田谷啓
□家庭の和樂……文學士　三輪田元道
□ランキン女史の地位……記者
□婦人の體質に就て……女醫學校長　吉岡彌生
□慘ましき奴隷の死……婦人救濟係　伊藤大尉
□廓清茶ばなし……飛耳張目生
□廓清春秋……元大連商業學校長　河合北洲
□天皷の響……梅翁

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

4—88
ライオン煉歯磨
新しい容器に盛る
新しい製品！
ライオン煉歯磨は最も進歩せる歯磨の形式にして、
品質優秀・使用便利
香味佳快・効果的確
現代人の最も歓ぶところ。
新しい時代に要する
新しい氣分は個中に在り！
LION TOOTH PASTE
(定價壹個金三拾六錢)
ライオン
ライオン
本舗 小林富次郎
支店

●御注文際は必す雑誌『廓清』によ る旨を申添を乞ふ●

産婦人科。小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應す

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

山室軍平氏著
社會廓清論
特價七十錢 郵稅八錢

グレゴリー氏著（邦譯）
歐洲諸國醜業公認制度廢止運動
特價税共 十錢

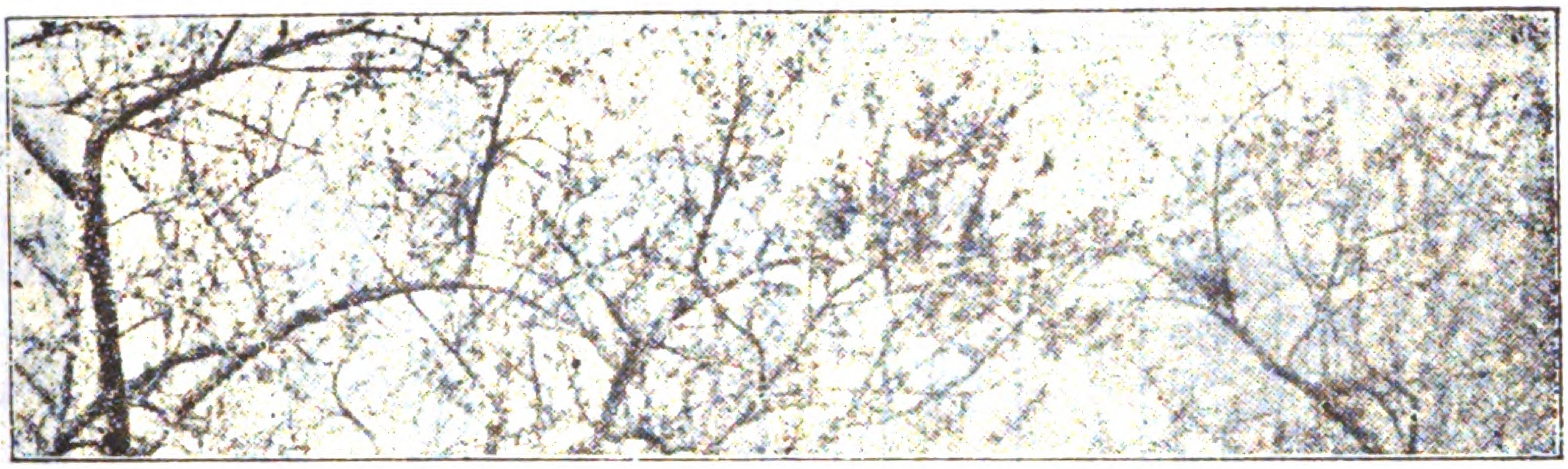
伊藤秀吉氏著
娼妓自由廢業案内
特價税共 十二錢

酒きらいになる薬
禁酒丸
一週分 一圓
二週分 一圓九十錢
三週分 二圓八十錢

どんな酒煙草のみでも害なく心からきらいになる。郵券二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の
禁酒 禁煙 論 進呈

禁煙液
煙草きらいになる薬
金五十錢 金壹圓 金一圓五十錢

本舗
大阪靱南通二丁目
森田商店
電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二壹 六番



國民と政治道德

廓清會副會長
早大教授　安部磯雄

□

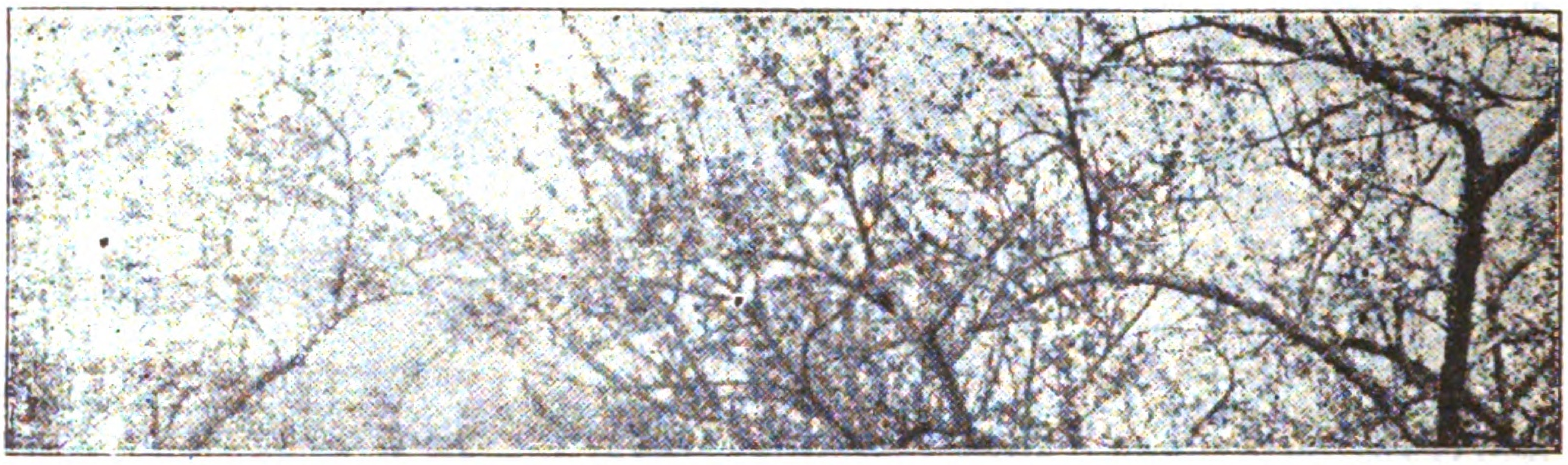
我國に於ける現在の政治界が、頗る隨落して居る事は今更呶々するの要はないが、啻に現在許りでなく此狀態で何處迄行くか、其停止する處を知る事が出來ぬやうな目下の狀態である。而して如斯腐敗するに至つた原因を尋ねると、寔に簡單明瞭で別に六ケ敷い事態の潜在して居るやうな譯ではない。一言にして之を評する時は、選出さる可き代議士立候補者の多くが莫大なる金子を使用しなければならないといふ事に歸着するのではあるまいかと思ふ。畢竟金力に依つて代議士たる可き資格を有するといふ、運動金の豐當な者は極めて容易に代議士たり得るといふのが現代の狀態である

斯く不相應な金額を要する爲めに、代議士として立派に面目を保ち得る人でも、相當な金力のあらざるに於ては、目下の選擧狀態から考へると至極困難であるから、眞面目な人は遂に斷念するの止むなきに至るのである。今の候補者が二萬なり三萬なりの金を使つて迄も代議士に乘出したいといふことは、夫れは自分が金を費消しても幾分なりとも、或は又其費消した金額其れ以上を取入れることが出來る望のある人か、又は其の肩書を利用して何等かの利益を得ることの出來る見込のある人か、さもなければ緣故なり、或は情實の下に其運動費を支出し貰ふ人である。

□

だから今日代議士になるといふことは、此の方面から見ても金力の無い者は如何に抱負の絕大なる而して又眞面目なる思想を抱いてゐても、代議士たることを望み得な

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY



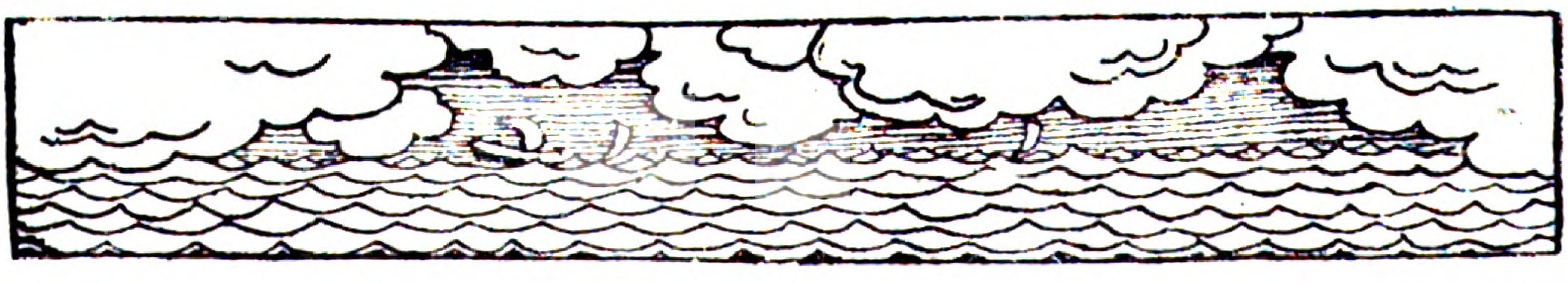
いと共に、社會でも是れを多く歡迎せぬ樣な傾きがある。政治の墮落腐敗するのも無理ならぬ話である。其他山林土地の拂下といふ樣な事に就ても、自分の權力が少し揮ふことが出來る樣になると、其等の事に就て何等かの利益を得る手段としてやる者がある。是等は皆國家の爲の代議士を望む者で無くして、自分の利益の爲に代議士の地位を望む人であつて、甚だ寒心す可き事柄であると思ふ。

金を貰つて出る人は如何かといふに、本部から金を貰ひ受ける者が多いのである。其運動資金の出處は頗る疑問であるが、兎に角本部の運動基金で爭ふのであつて、隨つて其因緣が尾いて居るから假令、自分が屬する其政黨の政綱主張に飽足らずして、脫黨せむとするも出來ないといふ事になるので、要するに本部より運動資金を得る事は、勢ひ黨派中心にならざるを得ない。だから些細の問題についても、其等の關係が繫がれて居る以上、政治上については到底獨占的考へを以て國家に盡さう等といふ事は到底望み得られない事なのである。

□

殊に政黨を離れて居る金持から支出して貰ふ樣な人であるとすれば、矢張り其人の關係上、其人の携つて居る問題が惹起つた場合、其報酬として務めてやらなければならないといふ事になるのである。

故に現代に於ての政治は其等の關係から考へて見ると、完全に而して理想的に行かないのは當然なことと思ふ。其の爲か現代の政治界を一寸私共が見渡した所、二流の階級に屬す可き少數の人を除くの外は大底三流の人達が多い。其は勿論立候補者其者が矢張り其三流の階級の者が多いからである。是れを以て現代の我國には其資格のある人物が乏しいといふか、否私の眼に映ずる丈でも、隨分其の資格を持つた人が多數ある。併し其れは皆眞面目な人であるから、前述の如き金力關係の事に携さはるを潔しとしないから出ぬ丈の話である。其れが怪しげなる人々の出るといふ事は、我國家の爲に甚だ悲しむ可き事で、政治界の墮落腐敗はそれより起つて來るのである。



これを防止するには、何うしても政治道徳を今日より向上せしめて行かなければならない。今日に於ける其考へは尤も緊急を要する適切なるものであつて、之を實行するには左程困難ではないと思ふ。卽ち候補者に出來得る限り金を消費させぬやうにする事を各有權者が努めてやる事である。有權者に其心懸が充分あつて、候補者を選出すれば、候補者自身が金力の威を借らずに代議士となる事が出來る。從つて其間種々なる弊害を芟除する事が出來るのは謂ふ迄もない。

□

然るに現在に於ける選擧を觀るに金力の奈何の方に考の大半が傾いて居るが如きは、定に有權者が選擧方法、卽ち政治といふ事に極めて幼稚なるが故であると思ふ。實に困つた事であつて右の方法に出でぬ間は、此政治の腐敗墮落を救ふ事は不可能であると斷言するも差支がないのである。

而して其運動資金の要する道は、謂ふ迄もなく其方法に何にかの弊害を醸す可き原因があるからで、運動員を多數使役して投票を獲得せんとするが爲め、勢ひ莫大なる金額を要するのである。第一他人に依賴懇願されて貴重なる一票を無我夢中で投票する事は不可ない事で、假くも自分の權利を尊重す可き一票は自分自身に於て熟慮した上で、彼の人なら代表して貰つても良いといふ人でなければ、必ず投票しないといふ事でなくては駄目である。然らば如何に多くの人が來るも、到底彼人は見込のない者として運動員が來なくなつて了ふ。現に私はさうやつて居るから、何時の總選擧の際でも運動員が來て、兎や角依賴される樣な事がない。それでなければ此腐敗せる政治界を防ぐ事は出來ないので、却つて候補者其人が依賴するよりも、有權者其者が代つて懇願するのが當然な理ではないかと思ふ。

□

然るに現代は其反對で候補者が戸別訪問を爲したり、或は又其家族の者が再三心にないお世辭を振り蒔いて同情を買ふ可く努める抔といふ事は、甚だ其意義を履き違へして居る者と謂はねばならない。假くも戸別訪問抔の如き依賴に應ずる事なく、自分自身の意志に依つて投票を行ふ信念のある有權者が多くなれば、多くなる程夫れ丈政治の向上を見る事が出來る。有權者の呉々も熟考を要す可き事は、投票權を疎かにせない事である。

投票權は謂ふ迄もなく大切な者であつて、如何なる事情があるにもせよ我々は何處迄も充分尊重せなければならない。決して忽せにす可き者ではないのに、中には音樂會の切符のやうに考へて居る有權者もないではない。決して此投票權は斯る薄片な輕々しいものではないのに、其樣な考へで投票する者があるのは返す〳〵も遺憾至極の事で、實に困つた考へである。兎角日本人は他人から賴まるれゝば嫌と言はない國民で、其性質も時と場合に依つては強ち排斥す可き者ではないが、如斯場合は、大なる弊害が起つて來るのである。

□

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

元來投票權は前にも謂た如く大切な者であつて、有權者各自は完全に其務めを果たす可きであるから、親戚、友人、知己、恩人等其他如何なる間柄の人に賴まれても左右にされる樣な事がなく、飽く迄峻拒して應じない樣にせねばならぬ。頑として其投票權を侵害されぬやうにして、而して貴殿に盡す道は他に在るからと應じない事が大切である。其精神で投票を爲すやうにして貰ひたい。

斯くして、初めて政治の向上の曙光を認むる事か出來るけれでも、他に最も肝要な事は汎く輿論を喚起して、法律を制定し其制裁を設くる事である。私は夫れが今日の場合一番捷徑であると考へて居る。英國では皆夫々候補者に對し金額を制限してゐる。矢張我國でも夫れに倣つて其方法を勵行して印刷物演說會費其他の雜費何程とか制限を與へる事にする、例へば今日東京市の侯補者が四萬圓以上も費すといふ事であるが、之等を四千圓以上、又は二千圓以上は絕對に費消してはならぬといふ事に制限すれば良い。其他の一つの弊害は戶別訪問を禁ずる事であつて、實際侯補者が有權者の家を一々九拜して廻る樣な事は是非避けたい、隨つて運動者が殆ど專門的に運動等をする事は絕對に禁止し、若し違反する樣な者があれば、必ず嚴重に處罰する樣にする事が必要である。

□

勿論夫等の方法は一朝一夕に其効が顯はれないかも知れぬけれども一方に於て選擧法違反の數が減少して行くと同時に專門的運動屋の輩が漸次減少されて、幾分宛でも國家の發達に好影響のあるは謂ふ迄もない事である。併し夫も當局者の力による處であつて、當局者が、何如に立派な法令があるにもせよ夫を握り潰して居つては、到底右の事柄は望み得ないが、少くとも侯補者自身の戶別訪問や又其運動者を嚴罰するは勿論、若し後日其實證を得た場合は當選を無効とするやうな方法が最も適切で、場合に依つては運動者の選擧權迄も取上げて了ふ樣にする事も其一方法として適いと思ふ。而して國民として國家の政治を腐敗墮落せしむる輩であるから、二回も罰せられた時は終生選擧權を再び與へぬやうにする。如斯して政治道德は一歩々々向上して行く事が出來ると思ふ。

□

右の各條項を勵行すれば自ら、種々潜在せる弊害が改つて來るに相違ない。隨つてさうなれば運動基金を多額に要せずして侯補に立ち得るを以て第一二流の階級の人達が漸次、出現するに臻るは當然であつて、右の方法は國家の爲に現在の狀態に於て實行し易いと思ふ。而して各侯補者も贊成する事に違ひないし、又之を議會に提出せば皆喜んで可決するに相違ない。全く戶別訪問等の如きことは其侯補者に取つても大なる苦痛であらうと思ふ。加之議員の人格上から觀ても甚だ面白からぬ事で、斯る事を我々の代表者にやらせる抔は寔に殘酷なる仕打であると謂はねばならない。

それでも尙ほ且つ窃に遣る者があれば、夫れは仕方がない話で、如何に警察の行き屆いた政策でも其處迄立入る事は出來ないが、其犯行は漸次減少して行くに違ひないと思ふ。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

人種問題と國民衛生（二）

醫學博士　永井潜

□授乳と生産との關係

次は授乳問題である。元來授乳に就ては、世の識者が、種種なる學説を立て、甲論乙駁未だに其謂ふ處が確定し居らぬけれ共、自分の考へとしては母の授乳が最も子供を健全にする好適ものと思ふ。或者は牛乳が適應して居るとか、又は山羊の乳が良いとか各自互に考へ方を異にして、目今夫等の物で夫々子供を養育して居るけれども、之等は只人體の生理上から許り觀た上の話で、實際に當篏つた所謂、眞に子供をして健全に發達させる事は到底望まれない事である。何故かなれば授乳は啻に其子供許りでなく、次の子供をば尚一層健全になさしむるものであつて、即ち授乳期間中の生産率が甚だ少きを觀ても一目瞭然たる者がある。生産率の少ないといふ事は次の子供の生れる間の期間が延びる事で、隨つて母胎が充分に回復するのである。不健全なる母胎より健全なる子供が生れぬやうに、健全なる母胎から無論不健全なる子供が生れる可き道理がない。斯くて授乳期間の眞價を充分窺ふ事が出來る。

然るに社會が進歩發達するに伴ひ、生存競爭が益々激烈となるに隨つて、婦人と雖も昔日の如く徒に男子の從屬的生活を赦されなくなつて來るから、勢ひ孰れの方面かに職業を求めて夫婦共稼を爲さねばならなくなるに至つた。獨り配偶者のみでなく獨身の婦人と雖も、物質の豐富な階級でない限りの者は、矢張職業を求めて家族の補助なり、或は又自分自身の生活の保證を得る如き狀態に、漸次さうなつて來るであらうと思ふ。併し如斯狀態は獨り現在及び未來許りでなく過去に於ても隨分あつたには相違ないが、今日より比較して左程甚しくはなかつたであらう。而して多く職業に携はれば携はる夫れ丈、生産力の減少を見るは明かなる事實で、過般當局者が工場法を布き、職工の健康に就いて充分注意し、警戒する處があつたのは、其等婦人に對する健康、即ち生産力に甚大なる好影響を與へたは謂ふ迄もない。

□文明に伴ふ死亡率

最後に取殘されたる問題は壽命の問題である。文明か益々進歩するに從ひ死亡率が減つて行く事は、人生に取つて甚だ喜ばしい事と謂はなくてはならぬ。併し乍ら死は元來、自然

が此人類に下されし處の、極めて大切なる賜物であつて、舊い者が退いて新しき者に其餘地を與へるといふ意味の、即ち新陳代謝の作用に依つて社會は常に進歩發達して歇まぬのである。而して元氣を回復し間斷なく新鮮なる空氣に充隘しつつ行くものであるのに、文明は此大なる自然を幾分宛征伏して行くが故に、老年者の死亡率が減じて、一方壯年者の死亡率が高まるといふ變體を觀るに至つたのである。是れ醫術進歩の然らしむる處で、幼少の時代に死す可き運命の者をも、暫らく生存し得るやうになすが爲め、時機來りて結婚を爲し生産をするから、勢ひ纖弱なる子孫の生れる事になる。如斯僅に藥力に依つて生存する樣な虛弱の體質より、如何でか健全なる子孫の生れ出づ可き道理あらん。斯くて弱い子孫が胎されて行き、其子孫が又た父母の境遇と同一の下に生存して子を生むに依りて益々不健全なる體質となるに至るは火を睹るより尚は炳なる事實である。

□進歩と並行する苦痛

併し乍ら社會何れの階級に於ても、進歩せる醫術の恩澤を受くるとは斷言出來ない。物質の豐富なる階級者は、夫れ相當の手段と方法を用ゐられるけれ共、反對に貧困者にあつては充分の手當が出來ないから、勢ひ貧困者は少壯年時代に於て前者よりも、多くの死亡者を出す割合となるのである。故に醫術の進歩の恩澤も物質の如何に依つては、被る階級と被らぬ階級とがある譯になるが、要之人類社會の自然に反抗し

□家庭の和樂□

文學士　三輪田元道

富と云ひ健康と云ひ、吾人の家庭を平和ならしめる爲に、大なる關係を持つて居るのは爭はれない事實だが、更に最も多く最も嚴そかに、直接家庭の幸福を左右するのは、夫婦が精神的に和合するか否かにある。身は强健にして家には百萬の財を蓄へながら、夫婦相和せずして人知れず、悲愁の涙に咽んで居る男女が世間に決して少なくない。夫婦相和しなければ、不幸は單に其人だけに止まらず之を父母とする子女、若しくは主人と仰ぐ僕婢に至るまで、一家族全體の不幸であつて、其の一家には春風長へに訪れる時なく、何時も蕭條落莫たる秋風が吹き荒む事になる。

仰々夫婦は一家の元素で一家は社界の根源であるから、一の夫婦が眞實に相和すると否とは、及す所唯一の家庭に止まらず社界全般へも其餘波を送つて、輕々看過すべからざる勢力をもつて居る事に注意しなければならない。されば互ひに

心から相親愛し相信頼すれば一家は治まつて、始めて家庭に春風起り靄々の氣が靉靆て來る。「琴瑟相和す」と云つて夫婦の間柄を琴瑟の音の一致するのに譬へた言葉があるが、琴瑟相和した處に隔意のない遠慮のない相談相手が求められるので、夫婦は互ひに何事にも秘密と遠慮を取除いた相談相手でなければならぬ。相談相手になる事に依て、初て夫は妻を親愛し、妻は夫を信頼し、共に其人格を尊重して各々其義務を完全に遂行する事が出來るのであると思ふ。さもなくて決して、眞に夫婦相和する事も出來なければ、又一家の團欒を到底望み得られるものではない。

換言すれば、家庭の圓滿は、一家が完全に統一されて居るに外ならないが、家族の人々が各自に我を捨て顧みなければ統一は容易出來得るもので「氣に入らぬ風もあらうに柳かな」と云ふのは此點の妙所を穿つた道句であると思ふ。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

之を征服して行く事が即ち文明の域に進むといふ意味になる而して人類の偉い點は此處に在ると雖も、又之れが爲め一方に於ては大に苦められて居る事は爭はれない事實である。實に眞の人類の發展といふ事に就ては少なからず憂慮す可き點があると思ふ。即ちケルト氏が謂ふ如く『人は自然を征服したが、身に於て敗けた。』此言は寔に眞理であつて、人類は全く文明を築き上げたが、一方には苦しみを招いたとも謂はれるのである。

□强者資格教育の必要

斯く文明が進歩すると共に我々の身體には益々其苦しみが増して來る譯であるから、此重荷を充分に負ふて生存して行かねばならぬといふ事を一日たりとも忽にしてはならない。人の此世に生れ出でた其の根元に溯れば、前代よりの賜を受繼いて、之を更に豐富に優良なる者と爲し後代に胎す責任がある故我々は飽く迄も現實主義にのみの考へに走るやうな事があつてはならぬ。

扨て右條理から熟考して見ると、茲に教育の大切なる事が充分判つて來る。人生には逐年重荷の量が増して行くに從つて勢ひ苦痛もそれに伴ふが故に、此重荷を充分負ひ得る人を得んには、何よりも先づ教育の力に據らなくてはならぬ。若し假りに此重荷を荷負ひ得ない人が多くなればなる程、人類社會は退歩し國家は衰亡の境裡に陥らねばならぬ事になる。

故に飽く迄重荷を荷負ひ得る資格を具備した人を得るに努めなくては寔に不安心であるから呉々も此問題を世の識者が等閑に附せぬやう希望して歇まないである。

□苦痛と闘ふ現代の兒童

實に之迄の文明が此人間の體質といふ事に就て、充分に注意されなかつた事は大なる失敗であつた。過去の文明は只物質方面の事許りに傾へたが爲め、此極めて大切なる問題に就いて遺憾乍ら、何等研究も調査も爲なかつたといふのは殘念に堪へない事である。では自然に還るかといふに、それは到底望み得ない事であつて、近來歐米諸國の人達が盛に『自然に歸れ』と稱へて、可成未開の地を選んでは其處に我が住居を定めるやうな者が多くなつて來たといふ話であるが、之等は僅の數であつて、之迄幾多の犧牲を拂ひ、幾千歳の星霜を經て來た今日の此文明の大勢を無殘々々打捨てゝ了ふといふ事は到底出來ぬ仕業であると同時に、人類が全部滅亡して又新に今の歴史に胎る彼の野蠻時代であつた狀態とならぬ限りは、此文明を放擲する事は絶對に不可能と謂つて差支ない。故に自然に歸れと謂ふ事は成人して再び母の胎内に歸れといふのと同一であつて、到底爲し得ない道理である。如斯不可能なる

□婦人にも軍事思想□

九段に本部を有する大日本在郷軍人會では、今回在鄉軍人の名譽を保持し、向上發展を圖ると共に、鄉黨に軍事思想を涵養するには、在鄉軍人のみの教育指導のみにては不充分であつて、その妻子を教育修養せしむることが必要であるとの趣旨から、十五日午後五時富士見軒に於て協議會を開き、田所文部次官、横山督學官、武部同省參事官、同省嶋稻垣茂一諸氏東京女子高等師範學校教授後閑菊野、大江壽美子、伊藤くら子の三女史東京裁縫女學校長渡邊滋の八氏を招聘し協議會を開催し先づ具體案を發表するさうである。

議論は之を避け、急務の問題は卽ち此文明を如何に利用し活用して行くかである。それには前にも述べた如く矢張敎育に依つて重荷を荷負ひ得る資格を作る事が何より大切である事を今茲に繰返して置く。實際に於て今日の小供はアリストテレスよりも尙ほ賢いのである。けれども悲しい哉此文明の大なる壓迫の爲め、日に月に人間に押し掛つて來る此大なる苦痛を受けねばならぬので實に氣の毒に堪へぬ次第である。

□數よりも質の問題

要するに此問題の根本的解決法は、文明の重荷に堪へ得る民族を獲るにあらから、多くの健全なる生產率を得る事が難いならば、卽ち生產率か多くして死亡率の多きを望むより、寧ろ生產率が少數であつても夫れが實質の健全であるを望まなければならない。畢竟露西亞的でなくして、少しでも偉い人物を作り出すといふ策は今日の最も賢い手段である。近來ユーゼニックスに就て隨分八釜しく叫ばれて來た其根元は、右の事情から起因したものに相違ないと私は信じて居る。而して現今の如き極めて强烈なる物質的滿足の要求にのみ、生存して行くが如き傾向あるに當つては、尙更此問題を絕叫しなければならないのである。若し此儘に打捨て丶省みない場合は、必ずや後に至つて臍を嚙むの悔あるは瞭なる事態であつて、假令其場合に於ける人類の覺醒が熾烈でありとするも、其時期に於て旣に遲き憾みがあるであらうから。凡ての物事はどん丶詰りへ行けば如何にかなるものだ杯と高を括らずに、國家を深慮する者は大に發奮覺醒して貰ひたいのである。

此の點に於て、漸次我國の識者も大分注目するに至つて來た。之は寔に喜ぶ可き現象であるが、啻に識者間許りでなく國民全般に於て注目して來るやうでなくては、此問題の解決も徹底し得ない譯である。さればお互に此心懸を持たなくてはならない。其處に初めて人類の眞の進步發達となりて、幸福を穫得せらる丶所以となるは呶々を要せざる次第である。國家の隆運の永く變りなきを期するには飽く迄此の考へを要し實行を望む次第である。

□妾の嫁入先は

東京市神田區北神保町の東洋家政女學校では、十六七歲の卒業間際の生徒に向つて「何ういふ處へ嫁入仕度いか」といふ質問をした。之を集めて見ると左の通りである。而して夫たる可き者の職業希望を見ると商人が最も多く、次に勤人軍人といふ順序で、共に大多數が望むで居るやうであるけれども、獨り辯護士、農家、醫師は各々一名丈であつた。

一、祖先を崇拜する家庭は物事が正しいだらうと思ひます。
二、舅姑に叱られるのは厭ひませんが直ぐ氣を直して下さる處。
三、私の父さんは好い人ですが、酒を飲むと母さんを初め家中の者を困らせますから酒飲みは大嫌ひです。
四、商人でも官吏でも軍人でも構ひませんが血統の正しい人。
五、舅姑は餘り嚴式でなく、小舅小姑の多勢居る家は互に助あひます。
六、色は黑くも、心の綺麗な人而して折々里へも行かせて吳れる人。
七、氣六ケしくても變人でも、お坊チヤン育ちは嫌ひ。
八、堅實した人ならば、顏が惡くても好いです。妾が行つて働くからお金の無い人でも一向差支へありません。
九、雇人ないたはり氣の面白い人。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

婦人參政權と廓清會の綱領

高野鑛油會社長　高　野　重　三

■今を去る十數年前の事であつた＝
＝時の文部大臣小松原英太郎氏の■

官邸へ、私用があつて訪ねた事がある。丁度其時は大臣が食事中であるから、暫時お待ち下さいといふので、應接間へ通された。處が其室の片隅の方に卓子があつて、それに差向へる相當の年輩の執事と、頭上既に霜を頂ける老婦人とが、相對して何事か話され居たのである。

聞くともなしに、其語り合ふ話を聞けば、其老婦人が執事に向つて、頻りに其當時の法律が男女の道徳を罰するの方法が、頗る不公平であるから、是非共之が改正をして貰はなくてはならないと、只管哀願を爲し、而して其願意を小松原大臣に取次ぎ呉れるやうにと頼むで居られたのである。それに對し老執事は『承知致しました。仰せの趣きは必す大臣にお傳へ申しませう』との返事。すると其婦人は其儘歸途に就かれたのであつた。後で聞けば其老婦人とは誰あらう。有名なる矯風會の會頭たる矢島揖子女史其方であつた。

申す迄もなく同女史は一夫一婦の主旨に基いて、我國法律の改正を衆議院に請願すると同時に、又一方各大臣を其官邸に歴訪して、只管願意の貫徹に運動されつゝあつたのであつて、之を取次いだ老執事は其場の様子から想像すれば、餘り其問題に就ては明確なる理解を持つた人とも見えず、随つて女史の熱心なる其話振りに比して、極めて冷淡である如く反比例的に、其問題に就ては同情もなきやうにも見えぬでもなかつた。併し流石眞面目なる小松原氏の執事丈あつて、女史に對しては頗る叮嚀親切、毫も不遜の態度に出でなかつた事は明かであつたが、同女史の哀願が其老執事の口を通して大臣に傳へらるゝ迄には、餘程其力の失はれて行くといふ事は想像するに難くはなかつたのである。

其時側にあつて其談話を聞き、又光景を観たる私の心には勃然として二個の感想が起つた。何故に同女史が、左程迄に其問題に熱心であるならば、如何に叮嚀とは謂へ餘りに理解もなさゝうな

■從つて同情もありさうにも見え＝
＝ない老執事の口を通して大臣に■

傳へて貰ふやうな其麽手緩い事を發めて、自ら直接大臣に面接を爲し其來意を告ぐる迄は、同官邸の玄關先を一歩たり

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

とも退かぬ丈の熱心を示されないのであらうか。彼の愛國婦人會の設立に奔走された奥村女史が示された如き、熱心と而して剛情を、矢島女史は何が故に示さなかつたのであらうか又第二には如斯重大なる問題を婦人の當然の權利として之を主張せずして、恰も物乞ひが憐みを乞ふが如き態度を以つて、只管哀願の擧に出でたのであらうか。婦人當然の權利を主張せずして、徒に哀願歎願の態度に出て居る間は、到底女史は其主旨の如何に立派な者あるにせよ、其目的の達せらるゝ事は餘程困難であらうと思つたのである。果して其想像の如く、爾後年月を經る事十有餘年の今日に至る迄、其目的を達せらるゝ事が出來ずに居るやうな狀態である。

茲に於てか門外漢である私共が餘計な事を謂ふ樣ではあるが、矯風會は從來の消極的運動の方針を一變して、今日の方法よりは啻に哀願的に其目的を達せんとするやうな

■其麽手緩い事を爲さずして大に＝婦人の當然の權利として主張し■

尚進むでは婦人參政權獲得運動をも、併せて爲す樣にありたいと希望して歇まない次第である。

惟ふに斯る事は喋々するの必要もなく、同女史は加も承知の上の事であらうと思ふ。然るにも係らず今日迄其方針に出でられなかつたのは、出來得る限り對手方、即ち男子の反感を惹起さぬやうに、婦人は婦人として飽く迄も其溫和、優美なる態度を失はぬやうにと、心懸けをした結果が茲に到らしめた者ではあるまいかと思ふ。

それに近來廓淸會にありては、頻りに廢娼の目的を以つて運動されて居るが、廢娼及び存娼に就ては、双方とも夫々仕極尤なる原因のある事であつて、私如き門外漢には其是非の批評を下すの資格はないが、常に同會の運動に就て感じて居る事は、之迄矯風會に對して思つて居る事と略ぼ同樣であつて、啻に廢娼問題を道德宗敎よりのみ論ぜらるゝ事は、其目的を達する上に於て頗る手緩き手段ではあるまいかと私は、考へて居る。

米國參政權運動の首領キャット夫人

歐米各國に於ける廓淸會や、基督敎禁酒同盟會の綱領の中に婦人參政權の一項を加へ居るに見て、我廓淸會も山室、安部、内ケ崎の諸氏の如く智患者の揃つた會であるにも係らず、何故廢娼論と同時に婦人の參政權に就て提唱しなかつたといふ事を疑つて居るものである若し婦人として我國の國政に干與せしめず、凡ての法律は男子のみに依つて、加も多くは宗敎道德の念なき輩の手に依つ

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

て作成されたる法律が、廓清會の目的及び其運動を著しく徒勞に了らしむる者であつたとの事が、同會の理事者の考へに浮ばなかつた樣な憾がある。

話が前に溯るが、矢島女史が其心血を注いで運動をされて居る其事柄に對し、朝野の政に直接若くは間接に關係して居る連中が、頗る冷淡であるのを見て、時に依ては大に之を心窃に憤られ、或は場合に依つて失望に陷られる樣なこともなきにしも非ずと想像も出來るが

■と同時に朝野の名士は凡て悉く
＝皆冷淡無血不眞面目な輩のみて■

あると想像さるゝ事があるとすれば、之は大なる考へ違であらうと思ふ。現に右述べし小松原氏の事であるが、數年前山本内閣仆れ、清浦内閣の現出を見んとした時、同氏が再び其内閣に入つて復文部大臣とならるゝといふの新聞を見た時、私は從來の文部省の取り來りし良妻賢母主義なる者が、最早甚しき時代遲れの主義であつて、其主義に依つて教育さるゝ我國婦女子の不幸は實に氣の毒の至りであり、夫れ故に獨り彼等のみならず、遂には彼等と生涯を共にする男子に迄累を及ぼす事てなり、更に又夫れが我國の進運に少からざる障碍を起す者であると信じたが故に、幸ひ知人であり又先輩である小松原氏が、若し二度文部大臣になるに至らば、大に此點に就て國民の注意を促して置きたい者と考へ、拙著『婦人問題早わかり』及び時々私が新聞雜誌等に發表した、婦人問題に關する意見等を取纏め、豫め同氏に送つて其一讀を乞ひ、更に期を見て同氏を訪ひて親しく愚見のある所を述べたるに、斯る問題に就ては頗る保守的の思想を有して居らるゝが如く世間一般から信ぜられつゝあつた同氏も、快く私の考へを聞き、而してそれに就ては直に其是非の意見を述べる事は出來ないが、兎に角、斯く熱心に我國婦人の向上發展の爲に盡し下さる事は、甚だ辱ない次第で今後は尙大に盡力して呉れとの言葉であつた。

其後早稻田大學々長高田早苗氏が、歐米を漫遊して歸國さるゝや、或雜誌記者に對し我國に於ける其當時の新らしき婦人と稱する者に對して

■大分罵詈を極めたる事を話され
＝其記者は雜誌に同氏の說として■

之を發表したのであつたが、私は直に同氏に對し一書を送つて其甚だ謂無き事を指摘し、併せて拙著を送つて其一讀を促したのである。果して一讀されしや否やは疑問なれども、同氏が其後文部大臣になられ、例の有名なる學生改革案を提出された內に我國の婦人に對し、高等教育の便宜を與へられんと致す處があつたのを見て、數月前に新しき婦人を罵詈せられし高田氏とは殆で別人ではあるまいかと思はしむるの感を私に與へたのである。

一昨年春私は友人の一人たる秋山定輔君が代議士の候補に立つて、頗る苦戰の裡、更に其當時の内務大臣大浦氏の非常なる壓迫をも蒙りて、殆ど其爲す處を知らざりし程の狀態を見て、私は一片の義俠の念止むる能はず、前後の緩急をも省

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

みずして同君の爲に壓迫を受くる事甚しく、夫かあらぬか罪なき私も前後二回迄も檢事局に呼び付けられ、種々なる取調べを受けるに至つたのである。如斯壓迫を受けた私の義俠心はそれが爲め益々燃え上り、深川の一隅にも尙燎々として威武に屈せざる天下の一平民ある事を大浦氏に知らしむるは此時なりと、大に奮戰したのであつた。故に大浦氏は私に取つては、其時丈は大なる選擧敵であつたと同時に、私も又同氏に取つては忌々敷奴であつたに相違ないと考へて居たが、其後選擧も濟み一日都下の各新聞記者を同氏は其官邸に招き、選擧論を試みられし內に、今回の選擧には著しく婦人が到る處に於て之に關係し、大に奔走したる事を述べて曰く、之は甚だ國家の爲めに憂ふる可き事態で、遠からざる內に婦人が選擧に關係するを禁止せんとするの法律を發布するの意志あるが如き、口吻を洩せる樣な當時新聞紙の報道であつた。

茲に於て乎、私は再び前後を顧慮する遑なく、直に一書を呈し、數日前迄私の政敵選擧敵でありし大浦氏に之を送り、斯る問題は之を輕々に何等の研究も爲さずして、決するが如き國家の不幸であると論じ、同時に拙著を送りて其一讀を乞ふたのである。夫れに對し私は、同氏は無論一顧だに與へぬ者と思つたが、豈計んや其後十數日を經て、突然麻布の大浦と自ら稱し電話を掛け來り、厚の禮を申され更に遠からざる內に、是非一度面會したいといふ事を求められたのである。案外なる態度に私は驚き且つ喜び、其會見を快諾して機會を待つて之を遂げん事を約したのであつたが、不幸にして其後同氏の周圍に惹起せる種々の事情に遠慮して、遂會見するの機會を失したことは私の今に深く遺憾として居る處である。

茲に述ぶる事は如何にも己れの自慢さうに、世間へ吹聽するが如く考へられ、冷汗腋下を濕すを覺ゆるのであるが、加るも本問題に關し、右の事實が少なからざる關係を有して居る事と、又己が信ずる事を眞面目に且つ熱心に行ふ時に於ては如何に保守的の思想に圍れて居る人と雖も

■一肌脱いで遣つた事があつたが‖其實私も秋山君同樣に大浦氏の■

■世間一般より或點に於ては頑迷‖不靈の人てあると疑はれて居る■

人でさへも、必ず之に感動するものであるといふ事の實例として、右の事實を述べて矯風會や廓淸會員に御參考に供した次第である。

前に述べしが如く我國の法律は男子に依つて作成せられ居るが爲め、當然男子のみに都合の良い樣に出來上つて居る。之を婦人にも同樣に都合の良い樣に改正して貰ふ事は、只哀願や歎願では到底目的を遂せられる事は困難な事だと思ふ。故に是非共其目的を遂せんと欲せば、婦人自らも奮起し國家の政治に參加するの權利を獲得せねばならない。勿論之に對し種々

■反對の議論のあるには相違ない‖而して今其主なる者を擧ぐれば■

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

第一　婦人は其天性として政治や法律等に關係す可き者ではない。

第二　政治界は腐敗して居るから、其樣な處へ貞淑なる婦人が入つたにした處で使へる者ではない。

第三　婦人は家庭の職務に多忙なるが故、若し政治に對して異見があるがあるならば、よろしく男子の代表者を通じて其意見を發表したら良い。でないと家庭の職務を怠るに至る。

第四　我國の婦人は未だ夫れ程進步して居らぬ。

第一の反對説に對しては、今日の科學も心理學も男女の特性なる者が、果して先天的のものであるか、後天的の者であるか、之を適確に定むる迄に學術が進步し居らぬと私は主張したいのである。隨つて人工的に男女の性に依れる男子各々爲す可き職務を區別確定する事は間違つて居ると考へらるゝ第二に對しては、政治界の腐敗を云爲するは

回寧ろ男子のみの政治振が如何に＝
＝缺點あり不完全である事を立證回

するではないか。之に就て面白い實例の一を左に述て見やう。諸君も知らるゝ如く今日の英國の政治界は、世界中で最も立派なる者と認められて居るが、斯る域に進步するには數十百年の長い年月を要したのである。百年前に英國の政治界の腐敗は今日の我國の夫と餘り觀を異にして居らなかつたのである。然るに其後之を防ぐ可き處の法律が設けられ、また社會の制裁は益々嚴肅になつた結果として、英國の政治界も漸次改良さるゝに至つた次第であるが、夫れでも尚永年の墮力として未だ三四十年前迄は、今日の如く純潔ではなかつたのである。殊に其弊害の最も甚しかつたのは今日の我國の選擧界に於ける弊害と同樣に、選擧運動者の腐敗墮落であつた。夫が爲めに選擧の度毎に候補者が選擧費用を要したる事は夥しい事であつた。當時の政府は茲に鑑みる處があつて選擧には斷じて運動屋なる者を使用すべからずとの法律を發布したのである。其爲め忽ち迷惑と不便を感じたのは候補者一同であつた。其處で當時の保守黨の側では一計を案出して婦人をして選擧に運動せしむる事になつた。之を觀た反對側の即ち自由黨に於ては、嘲笑を以つて眺めて居つたのであつたが、其結果は以外にも保守黨に屬する婦人の運動者の一團たるプリームローズ、リーグ（櫻草團）は最も眞面目に、熱心

回回大正藝妓が蘇生した回回

一時淺草公園銘酒屋女と共に、恐しい勢で跋扈した濱町蠣殼町濱花町邊の大正藝者が、芳町柳橋邊の藝者を壓迫して、盛んに淫風を吹かして居たのも束の間で、昨夏新闢令發布と共に何れへか散々ばら〳〵に姿を隱してしまつた。元より、同所界隈は、相場師や仲買人等の遊び場所であつたので常に繁昌して居た然るにへが相場師や小仲買店の番頭連が、女郎買は野暮だし、と云つて藝者は金が貸るからと云ふ、弱味へ附け込んで又もや、一時姿を隱した大正藝妓が再び、姿を現はして來て矢張以前のやうに、粋な藝者風や、素人娘、高襟女優、扨ては女中風と種々雜々の姿を變へて、盛んに小待合へ出入りを初めたが、中には堤な女中代りの、鉛り玉に置き私娼の代用を勤めさせて居る待合もあるといふ。折角撲滅した彼の丸山氏の心勞も今や骨折り損の疲勞儲けになりつゝある。

□一洲の政權を隻手に握る婦人□

△近來、英米其他文明國に於ける婦人の參政權問題の活動が稍下火になつた等とよくいふ人がある。けれどもそれは極めて皮相の觀であつて、實は下火になつた譯でもなければ、又強ち氣勢の衰へた譯でもない。只大戰亂の爲めに其表面が、其樣な觀を呈しておるが如くに見える丈だ。

△謂ふ迄もなく今回の大戰亂は、開闢以來未曾有の出來事であるから、隨つて交戰國の男子は殆ど戰陣へ總出となり、國內に止る者が漸次減つて行くやうな狀態であるが故、參政權獲得の機會は此の時なりとし、問題を惹起すと云ふとは、國家に取つて甚だ不利益なのは今更ら謂ふまでもない。それがため目今は只管一生懸命忠實になつて國家の爲めに働いておるから表面が斯く穩に見える丈の話である。

△現に昨年米國西海岸のモンタナ洲に於ける洲議員總選擧の結果、一名の婦人が當選されたといふ事が海外通信の報ずる處であつた。其婦人はジヤマネツト、ランキン女史といふ

△婦人で高位高官にある者も、文明諸國に於ては敢て珍らしくはないが、婦人が代議士に選出されたのは、啻に米國許りでなく世界何れの國を尋ねても未だ曾て見なかつた事で、卽ち是れが嚆矢である。

△女史の名は其の事に依てのみ、普く海外に知られた許りでなく洲會議場に現はるゝとに於て、一層多くの期待と興味を以て迎へられてゐる

△元來同洲にはデモクラツト(民主黨)とレポブリキヤン(共和黨)との二大政黨があつて、昨年改選の結果は兩黨共に同數であつたからである

△女史は性極めて純潔誠實なるが爲め、右の兩黨の何れかへ雷同する樣なことはしない。よく嚴正中立を守りキヤスチングボートを握つて居る。隨つて議會に於ける議案採決の際には女史の意一つに依つて可否が決すといふ。云はゞ女史は同洲の政權を獨占して居るのである。

に迄も男子の職業的運動屋の及ばざる程の熱心なる努力を以つて、加も報酬を求めずして忠實其事に當つて保守黨公認候補者の爲め大活動を續行したので、大なる成功を占める事が出來た。で初め此團體の活動を一笑に附して居た自由黨側でも、遂に眞似ざるを得ずしてリポラル、リーグ(自由團)を其黨派に屬する婦人に依つて組織せしめて、大に前の櫻草團に對抗せしめたのである。此二團が盛に正當なる手段方法により眞面目に且つ熱心に競爭して、各其屬する黨派の爲に、選擧毎に運動し來つた結果として

■英國政治界に於ける永年の腐敗■

=墮落は殆ど一掃されて了つた!!=

斯る事實のあるにも係らず前大浦內相が、婦人が選擧運動に關係するを以て國家の深憂と思ひ違へたのは、全く同氏が英國政治の歷史に暗かつた爲と謂はざるを得ない。故に淸淨無垢なる婦人をして腐敗したる政界に投ぜしむるは、甚だ不適當だといふのは偶々以つて男子のみの政治が如何に不完全の者であるかを立證するに足る者であると信ずる。更に例へば米國に於て男子のみが選擧に關係した時代に於ては、其腐敗墮落且つ喧騷を極めた事は誰も知つて居る處であるが、同國に於ける婦人參政權の行はるゝ州のみは其爲め斯る憂ふ可き狀能が漸次減退しつゝあるのは著しき事實である。

第三の反對說が果して正鵠を穿ち居る者とすれば、男子自らも參政權を放拋して了つて、只其事に熱中して居る少數の人々のみ政權を行ふの權利を與へて置くが良いといふ結果に

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

なるのではないか

回今日選擧權を有して居る數十萬
＝數百萬の我國民は一人も殘らず回

政治に熱中して己が使命を、或は職業を等閑に附して居るであらうか。有權者の大多數は政治の爲に別に之等を妨げらるゝの事實を未だ嘗て認めないのである。從つて婦人のみが之に參政權を與へる時には、何れも皆政治に熱中して自が家庭の職務を怠るであらうと想像する事は出來ないのである。加も一夫一婦の問題の如く男女其理解を異にする場合も隨分ないではない。斯る場合に婦人自らが、己が欲する代表者を選出する事なくして、利害を異にして居る男子に依賴して、己が意見を代表して貰ふといふ事は、謂ふ可くして行ふ可からざる者であるまいか。況や其男子が選擧する權利さへも婦人に與へざる時に當つて、己が意見を代表して貰ふ事が尙更出來得ない事ではあるまいか。

男女の進步不進步は全然比較問題に過ぎないので、參政權を與へられて居る幾十百萬の有權者が、皆悉く政治思想に進步して居るや否や、恐らくは

回大多數の者は殆ど政治の何者か
＝辯へずに居るのではないかと疑ふ回

餘地が充分あると思ふ。然るにも係はらず、尙男子には男子なるが故に、參政權を與へて居るのは何故であらう。而して婦人は固より男子にしても初めより政治の智識のあるものはないのである。之に關係せしむる事に依つて初めて、其思想を養成せしむる事が出來るのである。

よく游げる迄は水に飛込む事が出來ないといふならば、終生水に飛込む事は出來ないのである。水游の術を覺ゆるには最初よりして、水に飛込む事にのみ依つて之を習得し得らるゝのであつて、婦人と雖も之に參政權を與ふれば、漸次政治思想も發達するに到り、幾星霜の間には自然培養されて來て水泳術に於けるが如く何時しか馴るに至るのであらうと思ふ

斯く擧げ來れば婦人參政權問題に就き幾多の議論のあるは到底之を免る能はず、尙此上種々なる反對理由を述べる者が必ずあるに違ひない。歐米各國に於ても矢張其等と同樣なる反對があるにも係らず、日に月に駸々乎として其步武を進めつゝあるのであつて、一度婦人に參政權を與へたる國或は州にあつては、今日迄只の一度も其權利を婦人より奪去れた例はない。之に反して婦人に參政權を與へた爲に、其國又は州の政治界は著しく進步向上して、一般人民も其惠に浴する事が出來たといふので、滿場一致其效力を可決した處もあり且つ益々其權利が至る處に擴張されて、目下の大戰爭が一度平和になりし曉には殆ど歐米至る處、婦人の參政權を全然許すに至るの形勢あるに觀て、廓淸會又は矯風會が嘗に其目的とする處に向つて遂せんとするの一手段としてのみならず、更に進んで我國婦人の向上發展の爲め、其參政權の獲得を一日も早く綱領の中に加へ、而して法律の改正や廢娼の問題と共に一大運動を天下に魁けして起さるゝ事を切望する次第である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

活動寫眞に關する調査(三)

ドクトル　三田谷啓

□社會と活動寫眞

成人を本位として組立てられた活動寫眞を兒童に見せることの不可は申すまでも無い。害が明であれば兒童を活動寫眞館に入れぬやうにするのが當然である。兒童の身體と精神を活動寫眞の爲めに壞しつゝあるのに社會が平然傍觀して居ることはどうも請取れぬ話である。今日は學校も社會も手を措いて兒童が活動へ行くことを傍觀して居る。父兄が兒童を活動へわざ〱連れて行くことすらやつて居る。これは確に兒童虐待である。獨逸に於ては警察令を以て一定の制限を布いて居る。例へば兒童に適當のフイルムに限り觀覽を許すとか、一般に十四五歳までの兒童に活動館に出ることを禁ずとか又觀覽時間の制限された處もある。日本の今日は如何であらう。何事も致てない即ち活動による害を避けんとする設備は一つもない。然らば積極的に活動の利益を得るやうに何が出來て居るか。余輩は不幸にして兒童の爲めに此種の設備あるを聞かぬのである。由來我國の社會は兒童の取扱に關する要領を悟つて居らぬ學校教育丈けで人間が出來るものと思つて居る。今日の社會の狀態を見ると爾うしか思へない。恐ろしい謬見である。活動寫眞でも演劇でも同じことである。何故兒童と大人とを別にせぬのであらうか一般の活動寫眞へ兒童の出入を禁じ別に兒童用の活動館の設備を許可すればよいではないか。實際爾うあるべき筈だと思ふ。

獨逸國のドユッセルドルフ、ドレースデンの如きは善良のフイルムを製造する爲に補助金を出して活動寫眞館經營者を扶け以て教育的活動寫眞興行を奬勵して居るのである。又兒童の爲めに土曜日とか日曜日とかの午後二、三時頃から兒童用活動を開くやうにして居る處もある。東京の有樂座で日曜日の午後兒童の爲めに催して居るお伽芝居の如き仕組は適當の方法だと思ふ。獨逸ハムブルヒには兒童の爲めに午後四時頃より教育活動寫眞を映出せしめ教師が兒童を連れて觀覽に出かけるやうにして居ると云ふ。斯ふ云ふことは日本であまり困難でないと思ふ

瑞西のチユーリッヒにては學童は一切活動寫眞館へ出入することが出來ぬ制度にした。然し特に兒童用としてフイルムの檢閲を受けた兒童活動館だけは兒童が觀覧し得られる。其他の諸國に於てもフイルムの檢閲はやつて居る。又積極的方針をとつて教育的活動館の爲めに補助して居るところもある。

日本に於てもフイルムの檢閲は行はれ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

て居る。しかし何を標準にして檢閲さるゝかわからぬ。恐らく警察本位であらうと思はるゝ。警察が檢閲濟とせられたものでも兒童の爲めに害になるものがあるかも知れぬ。兎も角日本の活動寫眞取締は今日の處は至極不完全である。もつと完全なものにしなければ活動寫眞は依然として兒童生活を毒することになるのである。

□教育と活動寫眞

教育の方面に活動寫眞を利用すると著しい利便を得ることが出來る。しかし今日は殆ど其利用が企てられて居らぬ。利用の道は小學生徒に對して凡そ左記の方面があると思ふ。

一は小學校内で活動寫眞の應用を試むる事。

二は活動寫眞經營者と教育家との聯絡を謀ること。

右の第二に關して少しく説明する要があると思ふ。即ち兒童專門用の活動寫眞館が出來て教育的フイルムを映寫し兒童に知識を與へ一方には教育家が一定の時日を選んで、受持の兒童を寫眞館へ連れて行つて説明を試みることもよいと思ふ。斯かる場合には豫め教師がフイルムを選定して置くやうにありたい。要するに我國では活動寫眞の恩澤を受けずして弊害ばかりを味つて居る有樣である。まことに遺憾のことである。

□活動寫眞と暗示

活動寫眞と暗示のことに就ては此論文の性質上どうしても省くことは出來ぬ。

活動寫眞によつて起る所の暗示は其他のもので起るに比べると餘程其程度が著しいのである。例へば書物を讀むとか、物語を聽くに比して數等強劇である。活動寫眞であれば長いドラマでも僅か十分廿分間で終りを告げるのである。次から次へと内容が移つて行くのであるから迚も善惡のことなどゆる〱と判斷する暇はない、兒童に於て殊に然りである。そして精神は著しく緊張するのである。

それから活動寫眞によつて得た暗示が永く兒童の頭の中に保有されて居ることも著しい。例へば闇の夜に働く盗人の動作や、淋しき鐘の音、蛇の集合、喧嘩、火事等の恐ろしい印象は永く兒童の頭の中に保有されるのである。爲めに兒童は不安に陷り睡眠不能、恐怖等を起すことがある。

活動寫眞のフイルムが主として弊害を喚起するものは先づ次の如きもので、ある。

一、犯罪的方面。

此種のフイルムは兒童に竊盗等の方法を示すことになる。其他自殺の如きものもこの部類に屬するである。

二、性慾の方面。

性慾上の弊害も亦著しいものである殊に我邦の活動寫眞館の如く辯士が觀客の好奇心を滿足させんために口から出まかせのことを言つて性慾を説明するのである。この場合に殊に兒童は恐るべき印象を受けるのである。

三、動物の虐待。

四、恐怖。

兒童が活動寫眞の爲めに恐怖を起して不眠に陷り又は暗いところで眠られぬやうになる者がある。又獨りどうしても寢室に入り得ない者もある。

其他擧げ來れば尚ほ多くの事柄があるであらう。兎も角暗示性の富める兒童が強劇の暗示を受けるのであるから其受る

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

どころの影響の大なるは言ふまでも無いことである。

先年我國にてジゴマを映畫したる爲め兒童は盗賊、巡査、探偵などのまねをした。甚だしきは兒童が他の小兒を殺した。又汽車盗賊、乘逃等もやつた。實際斯かる有樣では活動寫眞は罪惡敎習所の姿である。こゝで不良少年が養成されたとて不思議はない。

しかしながらあらゆる犯罪や風俗紊亂を悉く活動寫眞の罪に歸することは勿論出來ぬ。果してフイルムが直接の原因となるか、これも疑問の場合があるだらう併し少くともフイルムを見たのが動機(誘因)となつて遂にある一定のことを仕出かすに至るは疑ひなきところである。即ち活動寫眞が導火線となつて或物が爆發するのである。

□活動寫眞改良意見

要するに我國では文明の大發見たる活動寫眞の恩澤を受くること少なく、全然惡用の姿である。吾人は一日も早く善用する樣にしたいと望んで居るのである。

而して予は活動寫眞善用の方法として次の如き意見を有して居るのである。

一、兒童を專門とする活動寫眞館を設立すること。

一、普通の活動寫眞館へは一切兒童の入場を禁ずること。但し晝夜一定時に限り兒童のみの入場を許可するも可なり。此場合は成人用「フイルム」を用ひず。

一、兒童活動寫眞館は夜間開場せざること。

一、兒童活動寫眞館は一回を二時間以内に制限すること。

一、兒童活動寫眞館に於て用ふる「フイルム」は歷史地理、動植物、お伽、軍事、風俗、習慣、農工商業等敎育的のものたるを可とす。

一、學校にて一定の「フイルム」を選定し兒童活動寫眞館へ敎師自ら生徒を導き敎材に供せば利多からん。

一、敎育團體にありては活動寫眞器及び適當の「フイルム」を購入しこれを貸出すやうにすれば利益多し。

一、兒童活動寫眞館は衛生上十分の注意を以て建築し且設備せらるるを要す。

一、「フイルム」の檢閱は敎育的及び衛生的見地に立つて行はるを要とす。

一、社會、團體、個人は兒童活動寫眞館のために扶助するを可とす。

此稿を終るに臨み予が依賴を快諾して調査材料を送附せられたる諸氏の厚意に對し謹で感謝の意を表する次第である。又名古屋市、長崎市、岡山市、金澤市等の警察當局者が活動寫眞館につきて詳細の報告を予に與へられたる厚意に對し感謝する次第である。(完)

□反對同盟會の運動

反對同盟會の活動振りに就ては、本誌紙上に屢々報道せし處なるが、今客年中に於ける運動經過を記さんに、開催せし演說會前後二十一回、委員の上京十回餘其都度本部幹事と機宜の協議會を開く。母の叫びと稱し、一千二百餘名の母の連署請願書を携へて、大阪府廳に其當事者を訪れて、少女の將來を憂ふる母の淚を見せしめ、新に設置されんとする一大陷穽を取除かれんことを迫り、同じ請願書を內務大臣に提出し一方總理大臣に訴ふ。此間大阪朝日、大阪毎日の二大新聞は筆を揃へて社說に記事にあらん限りの聲援を與へられたるが爲め、全國到る處より送られし反對運動資金は二千八百餘圓に達したり。最近に於ては取消請願書を貴衆兩院へ向つて提出せんが爲め、二萬枚の用紙を印刷中議會は解散し、新妻大阪府警察部長は更迭し、府知事は今同英斷を以て市內の遊廓整理を斷行せんとす

大正五年度 廓淸會大阪支部會計報告

支部會計 名出 イク

一金七百八拾九圓九拾三銭一厘 總收入高

內譯

金四拾四圓四拾銭一厘 前年度越高

金四百拾參圓六拾銭 贊助會員會費

金貳百七拾四圓拾銭 正會員會費

金六拾五圓 廣告料

金貳拾圓 臨時寄附會員三人より

金貳圓八拾參銭一厘 銀行利子

一金七百六拾四圓拾銭五厘 總支出高

內譯

金貳拾圓七拾九銭五厘 演說會費用

金六百四拾五圓 本部へ送金

金四拾壹圓拾貳銭 集金人手當及パス代

金四拾參圓〇貳銭 集金郵税

金八圓貳拾銭 吊慰料 電報

金五圓九拾七銭 雜費

差引殘高貳拾五圓八拾貳銭七厘

(大正六年一月末調查)

統計上より觀たる婦人の犯罪

内閣統計局統計官
慶應大學教授　横山雅男

犯罪統計は統計學の中道德統計に屬するものである。道德統計と謂つても世に所謂道德の事態を表章する者ではなくして、極めて世間の耳目に觸れ易い不道德の事柄を觀察して、反對に國民道德の良否を觀るのである。

犯罪統計は先づ之を男女に分けて觀る事が最も解し易く而して興味ある者で、今茲に述べんとする婦人の犯罪も、凡て男子の夫れに比較して觀やうと思ふ。だから引用する數字は悉く男子に對する比例である事を斷つて置く。

□婦人の犯罪は逐年減つて行くが□
□併し表面の數字丈では明言能ぬ□

扨て犯罪統計の第一に着目す可き點は時間的に觀る事である。即ち明治四十四年中全國に於ける總被告人數は十三萬餘であるが、大正三年中は十一萬九千餘に減じて居る。此の減少せる事實を表面の數字上から觀れば、犯罪人の激減したやうにも考へられるが、必ずしも犯罪行爲が減少した者とは一概に言ふ事は出來ぬ何故なれば一國の犯罪の多少、即ち增減は次の事項に大關係を有する者であつて假令犯罪手段の巧拙、若くば犯罪の輕重狡黠、警察官法官等の活動の巧拙、被害者の心得の有無（若し心得付いても放任するが如き場合）、被害者が法警官に對する信用等其他凡百の事柄が其表面に潛在して數字上に算へられぬ場合があると思ふ。假りに前述の全國總被害人が手段方法等同一であつて、加も尚ほ如斯減少したとすれば、眞に結構な次第であると謂はねばならないが、其事實は如何なる者か此統計に據つては、到底明言する事は不可能であるが故に、只單に數の減少せるのみを觀て喜ぶ事は少しく考へて貰ひたいのである。

□歐米婦人は年々增す一方である□
□文明國婦人として獨り我邦だけ□

先づ最初に右の犯罪人總數を見易からしめんが爲め、比例を以つて示す時は、明治四十四年に於て男子一〇〇に對し、大正元年は一〇一、二年が九七、三年が九二であつて、婦人は四十四年一〇〇に對し、元年は九三、二年は八一、三年は七五といふ割合を示し、男女相共に犯罪が漸次減ずる傾向である。就中婦人は其減少する割合が非常に甚しい、歐米各國の婦人は年々犯罪數を增すに反し、我國の婦人が獨り減少するといふ現象は寔に喜ぶ可き次第であると謂ねばならぬ。

次に男女を各百分比で示す時は、婦人にあつては男子一〇〇に對し四十四年が九・八、大正元年が九・一、二年が八・三、三年は八・一といふ、此比例でも婦人の犯罪は男子より少數である。而して此數は

凡て刑法犯に屬する者であるが、特別法犯に於ては四十四年が一三・八、元年が一三・三、二年が八・七、三年が八・五といふ割合で、之れを刑法犯に比較する時は四十四年、並に元年は何れも著しき數に達して居る。之等は婦人の犯し易い事情等もあり、且は又刑法犯より其罪重くないといふ處から、如斯現象を示すに至つた者と認められる。要之時間的よりすれば男女共に犯罪が漸次減少して來た事は事實であるが、就中婦人の犯罪の減少は孰れの方面より觀ても著しいものがある。

□婦人犯罪數の最高は和歌山地方□
□反對の最低は中國殊に福井地方□

第二に着目す可き要點は空間的に觀る事で、言葉を替へて謂へば場所の上から觀るものである。今大正四年に於ける通常第一審刑法犯數を見るに、男子に對する婦人の百分比は、和歌山地方裁判所最も高くして一三・八、次が函館同一三・五其最も低きは福井同にて二・七である。此比例は僅に一ヶ年間に於ける者であるから、未だ的確なる結論を與ふる事は不可能であるが、和歌山の最高は偶然的原因にあるものと思つて、前年即ち三年の比例を觀ると偶然的ではなく矢張り尚ほ一二・一を占めて居るやうな狀態で、此地方に於ける婦人の犯罪は平常全國に卓拔して居るが、裏面には必ずや其大なる原因が伏在して居ると思ふが故に充分注目に價する事態と信ずるのである。而して勿論一言にして之れを批評する譯には行かないが、近來同地方は急激の工業發展を觀るに至つたので、隨つて種々の人達が入込み其結果は勢ひ婦人の犯罪も多きに至る譯ではあるまいかと解されぬでもない。又函館を觀ると前年は左程多くはない。福井の最も低きは既往の統計に於ても同樣であつて、先年國家醫學會と片山醫學博士の請に依り、犯罪統計の鄙說を爲した事があつた時も、矢張り同樣に犯罪數の少き事を立證した事がある。即ち明治三十年より四十年に至る過去十ヶ年間の統計では人口十萬人に對する被告人の割合が、北陸地方が概して低かつた。就中福井は特別の最低であつたのを觀れば、以前の十ヶ年間に於ける平均數と今回の統計とが、共に最低を示せるは其地方に於ける婦人氣質の中に、動かす可らざる原因の存在し居るのは敢へて喋々を要せない事と思ふ。

□佛國婦人は全國犯罪總數の四割□
□我國婦人は一割と迄はならない□

尚百分比中の男子に對する婦人の割合を各地方裁判所別に分ちて、之れを示し度も餘りに長きが故に茲に之を略して置く次第である。只此處に一言す可きは、全國總平均數を男子九三・六に對し、婦人は六・四の割合であるが、佛國の統計に比較する時は男子六に對し婦人四の割合であるのに、我國の婦人は男子の一割に當つて居らぬといふ事である。之れは確に我國婦人の美點であると斷言する事が出來る。併し乍ら一面に於て如斯外國婦人に對して其割合の低いといふ事は、我國の婦人が多く社會に乘り出して活動する場合の少き爲めに外ならぬとも考へられるが、我國婦人には一種の美點が潜在して居る事は、之れを否む譯には行かない。故に此美點をして永へに保存せんが爲めには、如何に社會の組織が變遷すると雖も決して消滅するが如き事のない樣に努めて貰ひたいものである。凡て物事は惡事の爲し易いに反し善事は常に念頭

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

に在り乍らも出來兼ねる者である。人の美點も築き上げる迄には幾多の難關を經來つた賜であるから、其尊い賜をして無殘々々拋つて了ふやうな事があつてはならぬ。特有の美は尙更之を大切に保存し行く事が軈て人類の幸福を增す一因であらうと思ふ。

□犯罪の大半は男女共賭博と盜類□

□婦人特有の犯罪は墮胎と放火犯□

第三に着目す可き點は犯罪の種類である。併し其種類全部を茲に列擧して一々對比する事は、到底紙面の容れざる處であるから、其數の多き者を記して參考とする。今各罪名を百分比にて示す時には

種類	男	女
賭博、富籤	三三、一	三六、七
强竊盜	二九、八	二四、五
墮胎	―	八、五
詐欺、脅喝	一三、五	七、五
橫領	六、〇	―
傷害	五、四	―
猥褻姦淫	―	三、五
文書僞造	二、一	―
贓物	一、七	二、九
殺人	一、三	四、五
放火	―	二、三
其他		

之に就いて觀ると男子は賭博富籤、竊盜强盜を合計する時は六二・九であつて、此二罪が全數の半以上を占めて居る。第三の欺詐脅喝は第二の强竊盜に對して、餘りの隔てがない。然るに婦人にあつては賭博富籤、强竊盜六一・二で、殆ど男子と似て居るが、第三の婦人特有の罪である墮胎は、第二の罪に比較すると約三分の一で其差が甚しい。次も男子には餘り多く觀られない猥褻姦淫、及び放火の二つである。猥褻姦淫の罪と云つても却て其種類が多いから、一概に婦人は自墮落だ抔と謂ふ事は出來ぬけれども、何れかと謂へば男子の方が多い筈の樣に些つと考へられる。併し此罪の大半は賣春等が犯した者である事は想像が出來るのである。獨り放火の多いには驚かざるを得ない。尤も我々は婦人が度々口惜し紛れに其鬱憤を晴さんが爲め、放火したといふ事は聞くが之れ程迄多いといふ事は意外である。婦人の仇討は其最も大なる者では放火と大抵相場が極まつて居る。一時に逆上した精神は腕力に依つて如何ともする事が出來ないから自然放火といふ事に立至るものであらうと思ふ。

□先達の晩に

神田の或る交番で警官と、田舍から來たらしい親爺との對話が振つて居る。「浮氣杯して貰ッちや困るからこそ、碌に有りもしねヱ金を掛けて、態々女學校へ遣つて置くのに、斯う始ッ終心配許りさせられちや迚も耐つたものぢやありましねヱ」とは親爺の泣言▲警官憮然として曰く「什うも困つた者だ、一體何の爲めに學問をするのか、よく本人に聞いて見たら如何だ」▲「併し旦那其樣な事を仰言つても、此頃の本の中には浮氣をしても關われヱとちやんと書いてあるんだチウから駄目だと思ひまさア」之には警官も頗る閉口して居たやうだ。

□娼妓の出所

はと謂へば殆ど東北に極まつて居る。何故東北が多いのだらうかと謂ふと、彼の地方の邊鄙な處へ行くと、娼妓の何者たるかを熟く知る者が少ないからだ▲尤も貞操といふ事に就ての考へ方に依つても大分關係のある事だが、兎に角其樣な具合で割合が多い▲之も其一例で、福島縣某地から洲崎へ娼妓出稼して居る者がある▲或る特志家が其親元を訪れて、娼妓稼業に就ての種々な事を話し、本人の意志に依つては救ひ出して遣る心算だつたさうだが、頑として其の母親は聞入れない▲それ許りか公正證書を持出し特志家の前へ擴げて、改つて謂ふ言葉が實に妙だ▲「お前さんが如何に其樣な惡口を申しました處で此通り御上から

□婦人に犯し得ない罪が六つある□

□墮胎の習慣は未だに矯正し難い□

前表中男女共第一位を占める者は賭博富籤であるが、男子の數よりも婦人が多いといふ理由は、婦人の方が犯し易い罪なるが爲であらう。即ちチーハーといふ賭博の運送屋といふ者があつて、賭博を勸めて廻つたり或は金錢の取集分配等に使役されて居る者が多いからで、其他種種なる原因が男子以上の數に達せしめて居るのである。

以上は各犯罪種數の多數の者を見たのであるが、更に之れを各罪種に類別すると其數卅六中男子のみの罪が六種數あつて、婦人のみの罪といふ者は一つもない、即ち卅六種中婦人が犯す事の出來ない罪が六つあるといふ譯である。卅六の罪を男女の割合で見ると百分比中婦人の高い罪は墮胎であつて、七六・八であるが、之れ許りは殆ど婦人特有の罪であるやうになつて居る。墮胎といふ事に就て思ひ出したが、幕末には此墮胎を行つて居て、江戸時代の町中の或る處抔では、公然此商賣を看板掛けて行つた抔と聞いた事がある。明治の聖代になつてから非常に嚴しく戒めたけれども未だに或地方抔では、高知縣地方の墮胎が多いといふ、却々其習慣が矯正出來ないといふのは其一例である。次は遺棄罪が三七・五、第三禮拜堂墳墓に關する罪三三・八、猥褻姦淫、重婚三〇・〇で次が逮捕監禁が二一・九、放火、失火二〇・七で、次は殺人一九・五である。其他の者は極めて婦人の割合が低い、之に依つて男子に比較すると婦人は如何なる罪を犯すかゞ直に判るのである。

□犯罪者の年數は一ヶ月以上の者□

□輕罪を見込で犯罪する傾がある□

次に刑法犯有罪被告人に就て種々なる方面より觀察する必要がある。第一は科料處分であつて、即ち禁錮、罰金、科料等に分つのである。併し禁錮抑留は其數が甚だ少ないから懲役罰金科料のみに就て述べんに、懲役に於て百分比中男子の最高は一ヶ月以上にして三〇・八、六ヶ月以上は二九・九、一年以上は一八・九、三年以上は六・九、四年以上は六・二、五年以上は五・四、十年以上は一・三、十五年以上は〇・四、無期が〇・二といふ割合であるが、之を婦人に就て觀る時は同じく一ヶ月以上四八・二であつて、男子より非常に其割

免狀迄下されてあるのだから、何と云つたとて內の嬶は豪いものですよ」・と到頭其場は話が通じなかつたさうだ。

□何時の當局

でも餘りに手を附けられなかつた公私娼問題を隨分手酷い脅迫をも一向省みないで、斷然痛烈な斧鉞を彼等の頭上に下した丸山前保安部長の心勞は、今更謂ふ迄もないが▲が、多數の需要者たる市民は殆んど反對する者もないのに、或る一部の人達は未だに丸山氏を呪つて居る▲一番度の酷いのは吳服屋で、何でも張店が禁止の爲め、勢ひ大なる影響があるといふ▲成程それもさうだが、更に笑止に堪へぬのは落語家ださうだ▲此分では落語の材料が種切れになつて了ふと頻りに滾して居るさうだが、人間といふものは隨分勝手氣儘な者さね、とは或る警官の話。

□昨年警視廳

が遊廓取締法に改良を加へてから、娼妓の自由廢業が出來なくなつたと、誤解して居る人達が多數ある▲何處から這麼事を謂ひ觸らしたものか知らないが、それを事實だと信じて居る者があるのは實に困つた話で、大正の聖代の今日其樣な筈はないのだ▲元來此貴重な人間の身體を金で賣買出來やう道理はない、金は金、身體は身體で其樣な馬鹿氣切つた事は法律の明文に依つて斷然出來ぬ事になつて居る▲然るに此簡單明瞭なる事さへ知らぬ人達が多いと云ふ事は、返す〴〵も遺憾に堪へない▲尤もそれも其筈、現今でも什うかすると、堂々たる東京の大新聞迄も娼妓に就ての三面記事中「何々樓抱娼妓にして、何年前何百圓の前借にて同樓に身を沈め」云々と書くが、社會の木鐸であり乍ら此始末では奴隷の境遇が改まり樣はない

合が高い。併し六ヶ月以上になると激減して二四・八となる。之は婦人にあつては重い罪を犯す事を控へて居るが爲であらうと思ふ。言葉を替へて謂へば犯し易い刑期の短い罪を選んで犯して居るやうにも見える。其證據には男子に比較して一年以上が一二・二で二年以上が七・〇、三年以上が四・一、五年以上が三・〇、十年以上が〇・四、十五年以上が〇・二、無期が〇一といふ割合であつて直に婦人の犯罪の輕重が判るのである。全犯罪總數の二分の一は殆ど一ヶ月以上の徴役に止めて居る様な譯である。

次は懲役の各處分を百分比して婦人の比例を求めて觀れば、一ヶ月以上は九・〇六ヶ月以上が五・〇、一年以上が三・九、二年以上が六・二、三年以上が四・一、五年以上が三・四、十年以上が一・七、十五年以上が三・五、無期が五・四といふ振合である。

由是觀之、割合の高い一ヶ月以上でも一割迄は占めて居らない事になる。一二の例外はあるけれども大體に於て輕い方で其多きを觀る。

□罰金でも二十圓未滿が一番多い□

□最も注目す可きは死刑の多い事□

次に罰金に就て謂へば百分比に於て婦人の占むる割合は、廿圓未滿が二八・五、廿圓以上は九・七、五十圓以上五・〇、百圓以上は二・九、二百圓以上四・〇、即ち廿圓未滿といふ輕き犯罪が多い。廿圓未滿と夫れ以上との差は實に急轉直下の現象でまた科料に於ても婦人の占むる割合は一三・七乃至八の間にあるやうな次第で相共に輕き方が非常に多いのである。

茲に極めて重大な見逃す可らざる犯罪は死刑である。男女の割合は男子八七・六に對し婦人は一二・四を占めて居つて、之許りは犯罪總數の一割強に當つて居るが之れ實に研究す可き價値ある者と私は思ふ。世の識者も大に注目して此の缺陷を見出し矯正したい者である。凡そ死刑犯は最も怖しき者であつて、人類幸福增進に眞に憂慮す可き點であると思ふ。故に其犯罪の動機、年齡又は緣事身分等其他の事情等に就て詳細に研究調査す可き諸點があると考へられるから、此事實を世の人達に殊更私が提供したいのである。

□婦人は初犯刑で八割は改心する□

□犯罪に粘着力の弱い事は何より□

第二は受刑度數であつて、即ち犯數である。之を百分比にして男女の割合を示す時は

度數	男	女
一度	六五、五	八四、三
二度	一四、七	八、九
三度乃至五度	一四、九	五、五
六度乃至十度	三、九	一、一
十一度以上	〇、九	〇、二

之に就て觀るも婦人の初犯は全數の八割四分を占めて居て、再犯に至ると非常に低下する。男子の方は初犯より五犯迄は低下する割合が、甚だ緩漫である。如斯くして男女の犯罪に對する粘着力の強弱を容易に窺ふ事が出來る。粘着力とは犯罪に對する未練で、謂はゞ改心の出來ぬ者の數である。又之を各々百分比して見易くせば、男子に對する婦人の割合は初犯が一〇・六で再犯が五・三、三犯乃至五犯三・三、六犯乃至十犯が二・四、十一犯以上が二・二であつて、即ち犯罪度數が婦人にあつては再犯以上が漸次其割合を減少して居るといふ事で、初犯で改心する者が多いといふ事證を示して居る譯である。

□最近指紋法を用ゆるに至つたのは□

□犯罪を減少せしめんが爲めの策□

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

抑も犯罪人を捜索する方法には幾多の種類と手段があるけれども、現今世界各國に於て行はるゝ處のものは、寫眞、指紋、筆積、血脈、毛髪等である。就中初犯か或は再犯かを觀るには指紋法に優つた者はないといふ。故に指紋法に依つて初犯或は再犯以上の犯人を識別するに初犯者を斯く迄警戒を要するかといふに、夫等は刑事政策上に於て極めて重要なる問題であつて、假りに再犯以上の者を初犯として取扱つた場合には、初犯者へ様々の惡事の手段等を敎へる事が屢々あつて、容易ならざる事柄であるが故に、國家は初犯と再犯とは可成同じ取扱を爲さぬやうに苦心して居る。夫れが爲め指紋法といふ極めて厄介な事迄遣らねばならない様な次第なのである。

又犯罪度數なる者は國民の犯罪に對する粘着力の状態を見る方法として、之に優る者はないのであつて、出來得べくんば度數を細別して參考にしたいのであるが、憾くは三犯以上が極めて不明瞭であるが爲め、其價値をして少ならしめた傾きがある。

□婦人犯罪の研究は縁事上からが□

□何よりも最も適した材料である□

第三は縁事上から見る事であつて、即ち未婚、配偶、離婚、鰥寡の四種に是れを分ち、尚其上我國の統計では各々有子無子に類別されて居る。今婦人の其數を示さんに

種別	有子	無子
未婚者	二二、四	三、九
配偶者	六、八	九、二
離婚者	一五、七	八、五
鰥寡	三〇、四	一七、四

扨て此數字は何を語つて居るであらうか。茲に實に面白い研究材料を發見するのである。第一未婚者で有子の多きは即ち私生兒を生むだ婦人である。多少の例外はあるが大體に於て私生兒を持た婦人を觀れば誤りがない。私生兒を生む位の婦は其前後に於て無子の者より大膽であるは謂ふ迄もない、隨つて犯罪の割合も多いといふ譯である。次は配偶者であるが之は此四種中最も少ない割合を示して居る。實際から謂へば家庭を持つた者であるから、隨分夫の爲め子の爲めに貧困をする者が多いから、隨つて其割合も多かる可きに、却つて何れの者より双方共少ない。殊に有子に至つては驚く程少ない數を示して居る、家庭の有難さは之に依ても充分了解する事が出來るのである。第三は離婚者であるが、之は有子の者の方が殆ど倍數に達して居る。畢竟離婚して有子なるが爲め、生計に困つて犯罪を爲す者が多い様に解せらるゝのであらうと思ふ。

□鰥寡の有子に犯罪者の多い譯は□

□余りに貪慾にのみ走り過るから□

終りは鰥寡で全體の數から見ると實に多い。第三位迄は有子無子双方に於て、何れが反對に少ないにも係らず、此鰥寡の數に至つては驚く程多いのである。其原因は外でもない、畢竟慾のみに走つて名譽とか外聞とかを重んぜぬが爲めで、一口に之れを言へば餘りに露骨過ぎる傾きがあるけれど、戀とか愛といふ異性といふ考へが消耗されて、凡てが誰れ憚る者のないやうになつて來るから、勢ひ物質の慾のみに走る結果如斯多くの數を示すに至る者だと私は考へられる。孔子の敎へに『老ゆるに當つては、之を誡むるを得るにあり』とあるが、實際貪慾のみに走る結果の怖ろし事は驚く可き者がある。(つゞく)

婦人の體質に就て

至誠堂病院長
女醫學校長　吉岡彌生

□　□　□　□

近來青年婦女子の體質が益々劣惡になつて來るといふ話をよく聞くけれども、果して然うであるか何うかは一寸斷定に困む事でありまして、一朝一夕に此點が以前よりも劣つて來たとか、或は又彼點が惡くなつて行くといふ樣な事を一々指摘し說明する事は出來得ないと同時に、婦人の體質に就て改良したい條件等に就ても、之を確然と忌憚なく述べる事は出來兼ねます。けれども現今に於ける婦女子の體質が、漸次丈許りが延びて肉付の之に伴はないといふやうな事は、慥に注目す可き事柄であると思ひます。奈何となれば日蔭で育つた草木のやうに、丈許りが延びてもそれに確乎した力が伴はないならば、勢ひ物事が不活潑に流れ、常に軟弱なる動作となる結果、肉體及び精神の元氣が減少し、見るからに弱々しい姿となるに至る許りでなく、凡ての物事に自づと影響し、果ては生活上にも甚大なる惡因を醸すやうな虞れがないとも謂はれませんので、寔に寒心す可き事態であると思ひます。

□　□　□　□

扨て其原因を尋ねれば、其罪男子にある者と思はれます。何地の國でも同じでありますが、殊に我國の如に昔から男子が婦人を壓迫した事は非常なもので、尤も其處には種々な複雜した事情の存在して居る事は謂ふ迄もないが、要するに家庭の生活狀態杯から考へて見ても、今日の場合婦人は殆んど從屬的であります。凡ての物事先づ男子より初まるといふやうな狀態で、婦人が常に男子の要求に對し徹頭徹尾、何處迄も歡心を買ふ可く力めて居る結果、男子の一般が「美人は斯樣な容姿でなければならぬ」抔と要求すると、婦人は飽く迄それを望むで止まないから、自然今日の如き斯る細長い體質となるに至つた者と思はれます。

□　□　□　□

だから此問題を解決するには、其の習慣を打破らなければならない事になります。然るに習慣は第二の天性とか申しまして、譬へ善惡にせよ之を打破する事は誰しも頗る惜しい樣な氣がするものですから、却々改良の域に達する事は困難なのです。わけて斯樣な問題になりますと啻に男子許りの反對でなく、婦人の多く迄が皆反對するのですから困ります。男子から謂ふと成程婦人は飽く迄淑かなのを望むのは勿論でせうが、婦人自身から考へれば決して、それが幸福とは申されない、何故なれば體軀が纖弱であつたなら、精神肉體共に不快なるが爲め、凡ての物事を整頓する事が出來ないのみか、年中病氣に冒されたり、或は又早死して了ふから、是非共體軀は充分健全でなくてはなりません。先づ身の丈相當の肉付があり、血色が何時もよくて、常に活潑に愉快相に働くやうにありたいものです。さすれば勢ひ精神も健全となりますから、玆に初めて立派な婦人となる事が出來るのであります。

□　□　□　□

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

婦人の體質を善良ならしむるには、先づ第一に食物の注意さ、第二は運動であります。現在の家庭生活の狀態では、大抵の婦人、殊に妻等にあつては男子同様の滋養分を攝つて居らぬ者が多いのであります。つまり男子は外へ出て働くが故に、勢ひ食物も可成滋養分を攝るさ云ふ事さ、婦人は常に家庭内にありて餘り働かぬからさいふ事さ、前に述べた處の古い習慣から、遂に如斯食物の不平等さいふ事になつたのであります。併し之は甚だ其當を得ない事で、決して婦人は働いて居らぬさいふ譯はありません。家庭内の雜事、殊に兒持ちの婦人等の働きは實に容易なものではありません。上流社會は扨て措いて、中流以下の婦人の働きは實に大した者です。第一睡眠時間の少ない事を考て見ましてもすぐ判ります。斯く身軀を動かす者が滋養分を攝らなければ、自然身軀は衰へるのは當然でありまして、何れの方面から考へても見ても、男女の食物の不平等は決して善い者ではありません。

□　□　□　□

次に運動でありますが、勿論運動と云つても私の今茲に述べる運動は、殊更に遊戯體操を指すのではありません。でなくとも婦人は働く可き用事が多過ぎる程ありまして、時に依つては身軀が二ツあつても足りない位忙しい事もあるのですから、それを抛つて迄も他の運動をしなければならないさいふ必要もなし、又無益な事でありますから、先づ氣持よく出來得る限り働く事が何よりであります。

元來人間の體軀は或る一定の限度に達すれば、自然衰へる事は必然でありますが、比較的働く者程丈夫で且つ存命するのは爭はれない事實であります。昔から働かない爲に早死した者は數多有ますが働き過て早死したさいふ人は聞いた事がありません。だから我々は常に力量以上の力仕事をする事が第一です。

□　□　□　□

裁縫師の中指や、三味線を彈く人の左の手の母指さ人指指の股、勞働者の肩に出來るたこは、皆痛みを耐へて押通した結果、其處に耐え得る丈の肉が出來たものであります。人間の身軀は夫等一部分に止まらずして、何れの方面でも使へば使ふ程丈夫になつて行くものでありまして其證據には活動する婦人で、足腰の曲つた老人を滅多に見られないやうに、人間の體軀は何時も愉快に、思はず知らず進んで働くさいふ事であれば、如何に働き過ぎたからさて身軀に障るものではありません。却つて失れが爲め精神上にも好影響を及ぼし『健全なる身體に健全なる精神宿る』さいふ諺の通り、心肉共に健全になるのであります。

□　□　□　□

物事を面白く愉快にする事は、啻に肉體許りではなく、精神も矢張健全になるさ思ひます。何故かなれば眞に勉強し過ぎて神經衰弱や、又其他の病に冒された實例を私は見た事がありません。世の中には過度の勉强の結 果腦病になつた杯さ、よくさういふ人もありますけれども、夫は決して勉強の結果ではなく、嫌々乍ら勉強するさか、或は勉強中雜念が混つて來て、寧ろ他の方面の考への爲めに冒されるゝ者であるさ私は信じて居ります。だから勉強は丁度新聞の續物を讀むやうに、順々さ充分に了解して、其先々さ興味を持つて進むやうにしなければなりません。それを未だ充分に了解し得ないのに、無暗に押込むから、勢ひ繁雜して來て煩悶するやうになるのであります。だから精神上の事でも、矢張食物の關係さ同じ樣で、咀嚼しない間に詰込む事は絕對に宜敷ありません。

□　□　□　□

現今美人さ稱する典型は未だに、古い考へを持つた人達が多いから、矢張り如何にも弱々しい、吹けば飛ぶやうな、殊に手杯でも小さく、而して指が細く短く丸々したつまり働かずに居るやうな容姿の者が美人さ申されて居りますが、私は絕對茲に反對するので、見るからに頑丈な活潑な而してハキ／＼した者でなければ眞の美人ではないさ考へて居ります。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

廓清春秋

河合北洲

□主客相識らず

「自然」の盃は溢るゝ也。一枝の花に、宇宙の美は流れ。一鳥の聲に、天地の眞は漲る。豐富なる「自然」に、何ぞ獨り人生の貧弱なる。

天に、燃ふる熱、溢る、光、爛々たる星花を注げば、地は載するに剩る空氣と水と、土の筵を設けて、抱ける禽獸、孕める草木に、五彩の雲を呼び、舞踏の雨を招く、迅雷風烈にも進行の曲を奏して萬有に生々の氣を鼓吹せば、珍味は前後の山海に湧き、妙音と芳香は左右に隨ふて來る。豐富なる此宇宙に何するものぞ人生は忸怩たり、營々たり、悶々として双々相ならぶ、福德圓滿の主人と相亙らざるが如し。

「自然」は生命也。人生の價も亦生命也、生命の前には權位の力も土偶にして、生命の後には、一簞食一瓢飲以外、千萬の財貨も瓦礫に異ならず。生命はたゞ生命のうちに活きんことを冀へば也。此生命や、「自然」と人生の同一活動根たるが故に以て、互に相慕ひ、相追ふて情緒纒綿たるものあるも、一片靈犀の相通ずるなくんば、戀愛の意思を通せざる男女の如く、悲劇の人生に堪へざらんとする也。

人生の生命を求むるに戀々たるや、之を科學に求めて得ざる也、科學は活ける理法と萬有をも、分析の俎上に解剖し去りて臟物乾物の宇宙觀人生觀を供するに過ぎざれば也。去て之を藝術に求むるも藝術は實在と理想の寫生を與ふるに過ぎざらんとす、其寫生なるものも、偶々金玉を瓦石化したるものに非ずや、更に之を道德と宗敎に求むるも、糟粕の糟粕を賣るに非ざれば、白く塗りたる夜陰の賣春婦を拜するに止まる。

人生の生命を求めて得ざるは、朝顏日記を讀むの悲慘に似たり。貧弱なる人生は此戀愛病の經過たるが如し。若夫れ、直覺の靈眼を開きて、直ちに豐富なる生命の泉源に沒入す、感激と滿腹の高潮に堪へざるもの幾何ぞ、而して相逢ふの七夕たり、天河たるもの　將た何の機會を待つべきぞ。

□知らざるを知る

人生學の第一編第一章は己を知るに在り。

何物をも知るべくして、何物をも知らざるは人生也。知るものは事物の皮相と片鱗に過ぎざれば也。何物を知らざるも、必ず知らざる可らざるは己を知ること也己を知るべくして、已を知らざるを知る己を知るとは、體質性質を知るのみならざる也。嗜好性癖を知るのみならざる也。血統、家庭、鄉關、境遇、敎育、包圍、時代を知るのみならざる也。少くとも自己存在の價値を知り、如何にして存在するの尤も意義あるを知る也。知るべきは現在の己のみならず、過去の己なる父母を知り、父母の父母を知り、更に祖先、祖先以上を知らざる可らざる也。既に過去に遡る、又未來に降らざる可らず、明日の行くべき道は如何、明年の行くべき道は如何、更に第二の己たる子孫

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の行くべき道は如何、運命の路に非ざる也。行かざる可らざる道なれば也。これ己の知るべき外輪内廓となす。然も、知るべき最重最要のものは、己の己たる中心の或物也。或物とは神性の存在是也人生はこれに因て正邪曲直存亡の岐路に立つ。」嘗て、其神性を嘆美するものを聞く、曰く、大なる哉心や、天の高きも極む可らず、心は天の上に出づ。地の厚きも測る可らず、心は地の下に出づ。日月の光も踰ゆ可らず、心は日月光明の表に出づ。大千妙界も窮む可らず、心は大千妙界の外に出づ。其れ大虚か、其れ元氣か、心は則ち大虚を包んで元氣を孕む天地我を待ちて覆載し、日月我を待ちて運行し、四時我を待ちて變化し、萬物我を待ちて發生すと。

驚くべき哉人生、五尺の身に、此靈妙なる神性を懷く、懷くものに培養開發するもの幾人かある。培養開發せざるもの幾人かある。小人玉を懷きて罪ある路頭に迷ふ。」斯身飢ゆれば斯兒育たず、斯兒捨てざれば此身飢ゆ、捨つるは是なる耶捨てざるは是なる耶、人間恩愛この心迷ふ」と、人生は生命を求むるの道に迷ふて先づ此心を棄てんとす、而して此心は生命の泉源を慕ひて、其泉中に沒入すべき惟一のものたるを知らざる也。人生學の第一章は己を知るに在り、其第一課は先づ心を知るに始まる。

□流れざるの流

人生の最大發見は、自己の死中に埋藏せる自己也、自己生命の泉源たる心靈の存在を知るに在り、此存在あり、以て豚犬馬牛に拔んずる一歩たるを得。

宇宙の生命は、直ちに宇宙の大靈より溢れ、人生の生命も亦人生の小靈を通じて流る、流るゝ源を遡れば、世界は我の肉にして、日月星辰は我の燈火也。而して宇宙の大靈も亦我心の心也、此心を以て此家に住す、豐富なる饗宴に節度を守らんとするも、自主自由の生命は我内に足り、眞善美愛の力は我外に溢るゝを知る。

生命は力也。純眞の生命、僅かに小兒の兩頰を染むるも、接するものに不可思議の光明を與ふ。純美の生命、細微なる路傍の一花に燃ゆるも、以て今古の詩人を動かすに足る、純善の生命、眞人の骨

洲崎遊廓の燒失

昨年末品川遊廓の一部が火災に遭ひ、其餘燼未だ消え了らざる去月十四日午後二時洲崎遊廓に大火災があつて全樓の三分の一を灰燼に歸したのである。

燒出れた靑樓は悉く、去明治四十五年の大火に燒殘つたものである。斯くて噂の消へぬ間に、火攻め水攻めと度々襲はれつゝ苦い間に、尚も彼等は醜業を續行して行く。何たる無自覺さであらうか。彼等が度々斯る悲慘な出來事に遭ふといふ事は、天が彼等によく教訓を與へ下れるものであるのに、尚も悟らず懲りずに、幾百の生靈と肉體とを、ドン底へ陷れて自分達の貪慾を充たさうとする間は決して之等の天罰から遁れ去る事は到底出來ない。

□豫言の適中□

先逆の洲崎の大火災に就て面白い話がある。火災のあつた丁度前の日の事救世軍の伊藤大尉が例に依つて自由廢業の爲め洲崎遊廓へ行くと其處に四五人の樓主が居合せて居たが一樓主の曰く「昨今は馬鹿に上景氣だから。如何に自由廢業があつたからとて高が知れて居るから、まあドン／＼お遣りになつた方が良い」と嘲いた餘りの皮肉に大尉も堪へ兼ね「其樣な太平樂を並べ立て、社會に何れ丈の害毒を流すか一向頓着せず、只矢鱈に、金さへ儲ければ良いと思ふと、今に神樣の罰が屹度當つて水か火に攻め拔かれるから見給へ。決して神樣は此儘に捨て置く樣な事はしないから」と、殆ど其の舌も乾かぬ翌日彼の慘事があつたので、大尉は今更豫言の適中に驚いて居るが、一方樓主は膽を潰して慄いて居るさうだ。

頭に湧けば、千萬人と雖も我往くの剛勇に滿たしむ。眞善美愛の生命は、人生の絶對力にして、此力の向ふ所敵あるなし此世を何に譬へん、薄明と薄暮の灰色帶也、向一歩すれば光明界に上ぼり、墮一歩すれば暗黒界に落つ、中庸と妥協は其保護色にして、不得要領は其處世虎の卷也。人生は斷へず、兩脚と兩手の綱引に逢ふ、右手に正義眞善の撰手我を曳き左手に虚僞惡德の撰手は力を極めて我を奪はんとす、自己なる判斷の生命力は則ち最後の決勝點也。生命力の溢るゝ所、己に克ち、世に勝つの力あり。生命力の乏しきや、僅かに發言するの力すらなく誘惑を叱咤するの力なく、罪惡を一蹴するの勇猛あるなし、斯くて罪惡とは生命の欠乏充塡也、生命の欠乏は罪惡の僭王を誘ふ也。

人生若し心あらば、眞善美愛の眞骨頭たるべき乎、抑も亦た罪惡の下水に流るゝ死魚たらんとする乎。

□流るゝ流

人生には創造あるなし、境遇を創造し職業を創造し、子孫を創造するの所謂創造あらば、自己生命力の創造は創造中の創造なるべし。

生命力の創造は、宇宙の大靈と同化するに在り、斷へず大靈と合流するに在り合流の一刹那、電光石火、我、我に非ざるの感激湧き。我、我に非ざるの超越に覺めて、我を遣はしゝものゝ言を語り、我を遣はしゝもの、行を行ふの無意識あり、信仰生活の生命は、意識的に神を信じ、無意識的に神の事を行ふ此力に在る也生命力の白熱は無盾の一切を融和す大膽と小心、獨立と服從、白眼と熱誠、悲哀と歡喜、大不滿と大平安、活動と安息、破壞と建設、死と生を一致するの靈妙を有す、妥協するに非ざる也、靈化するの神秘に活くる也。

神秘の生命は「自然」の盃に溢る、「自然」の盃に溢るゝものは又人生の盃に溢るゝ也、克己の盃、犧牲の盃、献身の盃熱禱の盃に溢る。人生此盃あり、以て豐富なる永遠の生命を汲み、以て神と不斷の合流を流るゝに足る也。

しなば茶

△先達埼玉女子師範の生徒に「犬養木堂」に就て其の知る處を記せ。といふ課題を出して答案を得た△すると四十餘名の中で稍や正解に近いのは僅かに三四名位大槪のものは皆小首を傾けて暫時の間考へて居た揚句到頭知らぬ存ぜぬといふ答を出した者が多い△中には頓智を廻し過ぎて木堂とは里見八犬傳の一人だ抔と答へた者もある隨分考へ過ぎたものだ。△さうかと思ふと更に酷いのは文字其儘を解釋して、犬を養ふに木堂を以てするから動物を愛護する事だ抔と之は又餘りに情ない事を書いた者があつた△如何に天下の名政治家でも、女性の前に出た曉は宛然犬小屋の番人程にも思はれないのは笑止千萬な話だが、如何に婦人が政治に熱するのは喜ばしくはないにした處で此れでも餘り極端過ぎるやうだ△女子敎育に携はる人達は余程褌を引締めて掛らぬと女子に敎育の必要なしと迄、社會に思はれるやうになつて了ふとは去る人の話。

□何故彼は情死せねばならなかつたか□

■新聞の報道は餘りに酷過ぎる■

▶救世軍婦人救濟係　伊藤富士雄◀

▲娼妓の身の上話しに就ては、其事實有の儘を毎號遊廓物語として、汎く發表したい處であるが、倘悲劇の數々は到底僅の間には發表し切れない程多い。幸ひ自分の手で滿足に自廢を遂げた者は、五百餘人の多きに上るけれども、偶々本人の意志薄弱の爲め、遂に其目的を果す事が能なかつた者がある。

▲元來自廢は、如何に自分達の如に其當事者であつても、本人を唆かして迄も、廓から無理矢理に引張り出す譯には行かない。何さなれば「娼妓取締規則第十三條第四項」に、(本人の意に反して强て娼妓名簿の登錄申請又は登錄削除申請を爲さしめたる者)は三ヶ月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處すさいふ明文に抵觸するからである、

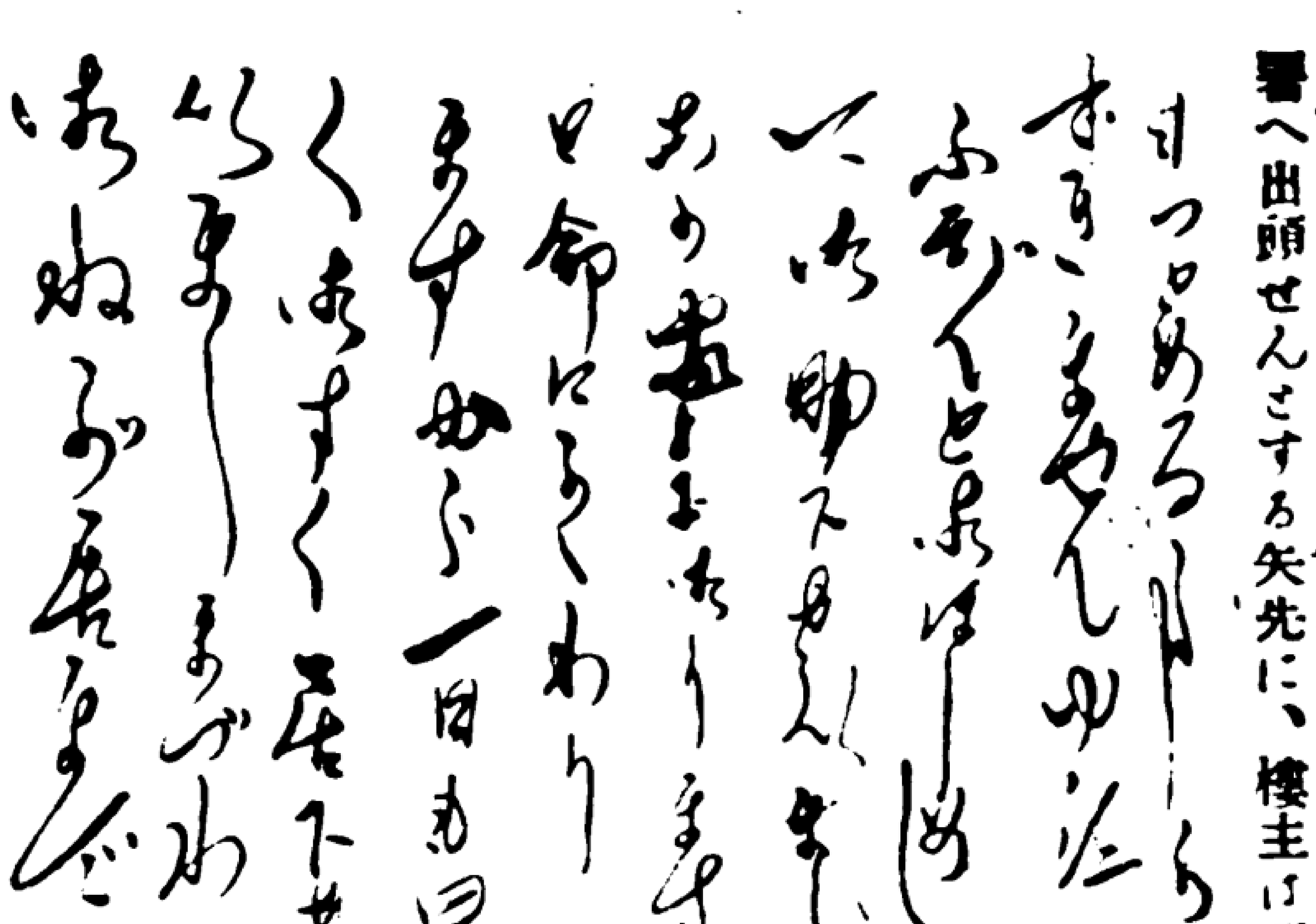
▲だから娼妓に限らず、藝妓又は酌婦等でも、本人の意志が强固でないさ折角堅氣にならうさいふ立派な志しも、可惜其機を逸して了ふのである。夫れのみか遊廓の慣習さして自廢を企てた者には、其他の者へ見せしめの爲隨分思切つた慘酷な仕打をするか、或は又遠く海外へ賣替へを爲さしめて了ふとか、兎に角其儘にはして置かない場合が多いので、自暴を仕損じた娼妓は、時に依つて其苦痛に堪へ兼れ、遂に儚なくも自殺を企てる者さへある。

▲新吉原角町十番地一力樓事加藤まん方に春駒さいふ娼妓が居た。(族籍姓名等は態さ記さず)彼は東北の未開な山の中から連れられて來た者であるが其後數ヶ月を經て怖ろしい花柳病に罹つたので、彼は非常に驚愕した。然るに古參の娼妓は彼に數ふるに茶飯事を以つて戲ひたのである。彼等の生活が、實に荒み切つて居るのは此一事でも略想像が出來が能る。

▲殘忍極まる樓主は彼の訴へを聞なかつた許りか、遂に彼が毒氣の爲め逐日、頭髮がボツリ〳〵と拔けて行くのを見てさへ、尙ほ一向頓着せない‼。彼は度々其態を示しては、泣き憑き乍ら訴へたが怒りの眼を以つて何時も脅かして居た。遂に彼の頭髮が殆ご一本だに殘らない程の坊主になつて了つても……。それでも尙相當の手當等は無論施しはしなかつたのである。

▲却つて極慾非道の樓主は鬘を購つて來て、彼の頭に冠せ、引續き店頭へ突出したのである‼。彼は斯る空氣の裡に淚のために眼を泣き腫らした事が何週あつたであらうか、蓋し會員諸君には略想像し得らるる事であらうさ思ふ。

▲其處で彼は自廢の事を思ひ立つに至つて、覺束乍らも、私へ宛て、手紙を送つて來た。早速私は彼に面會して其助力に來た事を告げた。然るに私さ彼さが警察署へ出頭せんさする矢先に、樓主は巧に彼を籠絡して彼の意志を翻がさしめて了つたのである。



□彼女の手紙の一部□

▲其場合何時の自廢でも、餘程本人が確乎さして居らなかつた際にはよく失敗するのである。彼も餘りに世間を知らなかつた事さ、女なるが故に頭髮の無い事に依つて、世間に辱しいさいふ事さの二つが、彼の最初に志した自廢も、遂に挫けるに至つたのかさも、自分は推量する事が出來たが、實に返すがへすも惜しい事であつた。

▲それでも其後幾日かを經て後再び、充分に自廢の決心を固め、決して失敗せぬやう留意をして置いて、樓主の甘言に二度さ騙される事がないやう、飽迄も頑張り通す事が出來る樣になる迄の時機の到來を待つやうな、普通の娼妓同樣の心懸であつたなら左程口惜しい事もなかつたのであるが、彼が其後數日を經て、遂に此世を儚み、生命を打捨てたさいふ悲報を聞くに至つて、倘ほ其の念が一層痛切である。死ぬ程決心したら何故へ、樓主の浮薄な口先から出る甘言を退ける事や又頭髮がないさいふやうな一時的の考へを振捨てる事が出來なかつたであらうか今に於て考へるだに實に殘念の至りである。

▲斯くて本人は再び營業を續行して居つたが、前述の如く樓主の慘酷なる折檻さ朋輩の嘲笑さの苦痛に耐へ切れずして一遊客さ昨年の三月二十一日午前三時、互に昇汞水を呑んで情死を圖つたのである。

＊　＊　＊　＊　＊

こそ雨の降る翌朝、彼の死體は白木の無造作な棺に入れられて何處へか運ばれて行つた……。

天鼓の響き

愚見を當局に呈す

横濱　梅翁

我國欧米列强の文明を輸し今や彼を凌ぎ其强を爭ふ者漸を以て、之れを得たる者にして一朝一夕の事にあらずと雖、近くは嘉永六年米國水師提督ペルリが浦賀に寄港し、數聲の祝砲に祝せられ、我國長夜の夢は破られて文明の曉を報じ、雲開け霧散に初めて旭日の輝きを見たるは何人も首肯する所也。爾來幾多の未曾有の曲折を經ると雖猶舊態を脱する能はず、久しく國の統一を缺き、列藩政を異にし、甲論乙駁國民をして殆其歸趣を迷はしめたり此時に當りて叡聖文武なる　明治天皇陛下坤輿稀有の資を以て登極し給ひ國の統一を計られ、僅に四十五年の歲月を以てして一躍肩を欧米列强に比し彼等をして、或は恐れ或は妬むと雖亦驚嘆措く所を知らざらしむるは我國の一大快事にあらずして何ぞや

今又今上天皇陛下が　皇父皇祖の垂訓に則とり治を四海に布き萬民鼓腹して泰平を唱し。普天の下卒土の濱、陛下の聖明を仰がざるなし、然りと雖、世は太平に馴れて聖恩を忘れん傾ありて、酒色に耽りて怠慢に流れ、名は學生と稱し放蕩無頼、百千非を爲し、良家の子女を誑かし、富豪の子弟を脅迫し正義の貴ぶ可きを惡み獸慾の耻辱を知らず、恬として惡を之れ爲す、人之を名けて不良少年と云ふ。獨り不良少年のみならず、良家と稱す可き者亦遊惰放逸、酒池肉林、長夜の宴を爲して誇りとし、牛飲馬食色を漁し奢に流る、日に流連を事とする者甚多し。國會議員にして酒を被り學生に勸むるに放蕩を以てするに至れり。甚しく教育勅語を奉讀するの校長が女を瀉し賄賂を以て顕職を買ふの陰事等偶々其間に加はる、嗚呼罪重くして刑輕く文明の法律を以て蠻民を治るが如し。社界の正義は自己の非道を恥ぢ自屈せしむるの力なし、之等も亦同穴の狐狸にあらずや。唯罪の暴露せざる者之れを善人と爲すのみ當局目あり耳あり敢て竹が言を待つて始めて之を知るにあらざるへし不肖謂ふ我國の危き實に累卵の如し、而して猶太平なるは　神武以降列聖相續き民を撫する赤子の如かりし其仁德の蔭力に依る處なり。天下の人苟も茲等を辨する者、皆日に非なるを知らざるなし。今にして之れを救ふの術を講せずんば、他日臍を噬むの悔あらん。

地方風敎如何

茨城　絹山生

現今社會風敎の紊亂裡にあるは、今更謂ふ迄もなき事實なるが、世の多くの識者は之等の事態を窺ひて、則ち時勢の斯く然らむ處なるが故に、個人々々の人力にては到底如何とも爲す能はずと謂ふ。一面大人氣なる悟徹の意味あり氣に見ゆると雖も、決して然るにあらず。識者其者が既に此紊亂錯雜せる禍中に陥りて冷靜なる頭腦にて、傍觀する事さへも得ざるものも信ずる也。如斯して社會の風敎は追次紊れ行くの態を余輩は觀に付け、或は聞くに付け寒心し居れり。殊に近來都會の空氣が極めて、未開なる僻村に迄も侵入し、料理店に私娼窟に、殆ど今や其防止する處を得ざる盛況を呈し、今後尚益々增加せん傾あるは事實にして、殊に我地方に於ける私娼の繁昌は驚く可き者あり。日中白首が大道を濶步して、極端にも貨物廣告を爲し、若しも或る店頭に遊野郎風の男到來せんか、直に其處へ押掛け行きて淫語聞くに堪へざる醜態を公然演じ以つて、我者にせずんば欲まざるの執着を見せ、遂に我が料理店に引入れあらゆる手管を以つて客の嚢中が空虚になる迄は、容易に離す可くもあらず、空虛なるに及んで初めておサラバを極込むの主義に於て、彼等は幾多青年の將來を過らしめたるか、實に枚擧に遑あらざる也。其他尚青年を騙さんが爲め時には、用事もなきに田圃々々の可成青年の居る邊を漁り步き、或は種々なる手段に於て有妻者を引込む等、凡百の方法は凡て之れ悉く風敎の頽廢に伴ふ、青年の克己勉勵心を消滅せしむるの惡魔にして他に何等の効あるなし。

我等青年は此時に奪り何を以つて之等の惡魔と戰ひ得る哉。亦は此誘惑に打ち克つ可き丈の素養あるを必要とす。如何なる者と雖も私娼等に觸るれば花柳病の怖ろしきは知り切つた話にて、皆異口同音に其非を鳴すと雖も、一度アルコールの中毒に冒されんか、忽ち氣は錯亂して良心の存在は尚更の事、現に危いと知り且は、尚ほ危險なるを感じ乍ら、加ふ必ず弊害の伴ふを見ても遂に花柳の巷に足を入れ其揚句は怖る可き花柳病の患者となるに至る。同じ花柳病を怖れると雖も如斯は未だ眞に其怖しき點を見ざるの觀ありと謂ふ可

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

き也。眞に其怖しきを知らば、如何で危險區域に浸入するを得ん哉。余輩は玆に其要點を見出す者也。惟ふに之等の防遏は偏に花柳病に就ての智識を一般に知らしむるにありと爲す。如何となれば私娼等に對する眞心の力添へとなる可き者は、卽ち花柳病に關する智識、其智識を多く知り得なば決して危險區域を見乍ら態々浸入するが如き行爲に容易に出づる能はざれば也。

世に敎訓的演劇あり、亦音曲あり、或は歌舞ありて社會の勸善懲惡を示すと雖も、未だ嘗て花柳病に關する夫等の數へのなきは甚だ殘念至極の事たらざる可からず。藝者を妻にして家内に大騷動の惹起する筋書や酒呑みの下流家庭の狀態等を仕組んだ者は多くあれど悲しい哉、此重要なる問題を等閑に附し來りたる事は實に、今日如斯風紀の頽廢を釀したる次第なりと思惟せらる。よろしく何れの方面より、此問題に些少にても、結構なれば注目の惹かれん事を切望する所以也。

弱き者の叫び

長野　高井隆一

學識有る兄等の前にも、私の如き者の愚説、或はこんな物と一笑し去られるでしようが、涙ぐんだ目でじつと世の中を見つめてる私は、眞面目です。

私の目に寫つて居る世の中の有樣を申上て見度いと思つてペンを取りました。笑ずに聞いて下さい。

今迄私は此の荒れ果た世の中を見まして、夜半孤燈の本に靜に目を閉する時、餘りに狂暴で有るのに驚き且つ驕慢と虚榮と淫樂の凱歌の下から傳つて來る、屈辱と悲痛の呻に同情して居りました。涙を以つて耳を傾け、或は見つめて居りましたが、迚も見て居るに忍ませんでした。

元來私は非常に靜な事を好む性質なのですが、今は迚も默して居られませぬ。慘然たる物質文明の陰影にかくも悽慘たる有樣を認た時、如何にして對岸の火災視して居られませう。人の子の尊い事を主張して居る私には、又貞を非常に愛して居る、何より以上の愛さむと願つて居る私にもかく奮發するのは、當然の事だと思つて居ります。

所謂道德家ぶる人は、藝妓や娼妓などを見て人を迷はす憎む可き者だと仰せになります。果して彼等は惡人で有り、憎む可き者でせうか。然らば御尋ね致し度い。口に倫理道德を唱へ、利己と言ふ眼鏡をかけて居る目の惡いお方は何でせうか。學位や金錢名譽などで、身邊を飾りながら人道を歩ます、貞操を無視して居る方を何と申しませうかしら。身は大切な兒童を指導す可き敎育家で有りながら、勝手な理屈をこね廻して肉慾の從僕となつて、娼妓狂藝妓狂をなし、潔い處女の後を追つて歩いて居る樣な、人を何と言ふたら宜敷いで御ざいませう。

彼等藝娼妓私娼は、社會に害毒を流して居る憎む可き者である。併し彼等にも自由を與へて自覺を促したい。彼等とて物質の束縛から逃れ得るなら、尚又人の子の尊さが解るであらう。彼等の弱點を見つけて、是に敎るでもなく、強ゆるでもなく、却つて是を利用して、己が汚れる慾を滿しつゝ有る人は、責める可きである。嗚弱者の爲に泣き得る人は無いのであらうか。

諸君も人間より生命を奪はゞ殘る物は何ですか、勿論死でしよう、冷い〳〵死體でせう。併し彼等が女性より貞操を奪ふのは彼等を殺すのでせう。

嗚今や社會は迫害と言ふ、誘惑と申す兇器を以て、公々然と日々殺人罪を犯して居るでは有りませぬか。弱者は暗の中で、極て力のない聲で呻いて居ります。あれが耳に響きませぬか。聞えぬのですか。人々は女性の貞操を蹂みにじりながら、他を向いて喋々として道德を口にし、人道を唱いて居るばかりでは御ざいませぬ。己が不義を辯護する爲に、彼等を暗に押し込て、狐よ、人非人よ、と誹つて居るでは有りませぬか。然るに何ぞ、社會は其の人の不義不品行に對し強者なるの故を以て默許して居ります。斯して或る人は何と言うても、し方がないと申されませう。其な小さな問題でせうか？　諸君道德的罪惡は上流に多いのです。然し強者だからとて罪を許される譯も有りますまい。

會　告

本誌第六卷第五號（昨年五月號）本部に於て是非入用有之、八方へ殘部返送、又は寄贈等を相願居り候間、何卒數の多少に拘らず御寄贈被下度此段特志家に切望仕候

熱血紅涙

□林哲彌君 （長野）洲崎遊廓が燒けたといふ新聞を見た時、私の心は雀躍したやうな感があつた。火災に燒け出されたことを、喜ぶ譯ではないけれども、近時彼等醜窟の燒燼する毎に頻々たるは、實に其間何等かの意を語る者であらう。吾人の使命は斯くして一層の重きを加へ來るのであるまいか。會員諸彦の奮起を熱望する次第である。終りに島田會長の御不快が一日も早く全快の速かならむ事を祈りつゝあります。

□中里生 （熊谷）今朝諸新聞紙の報導する所に據れば、洲崎遊廓は其の四分一、殆ど烏有に歸すと。社會風敎上の見地、卽ち我等平常の主張せる處よりして實に此上もない刺戟と被存候。我等が常に其非を鳴らし、以つて人類の向上と幸福とを祈りつゝあるを、神は之を認め賜ふたるものなるは明らかなるも、我等は其努力が決して空しからざるを、何此際痛切に感じられ候。而して一刻も早く清淨なる地となられん事を祈り居る者に有之候。

□駒田彥太郎君 （三重）別途一ヶ年分會費御送付申上げます。二月號編輯後で辿つと讀みましたが、「娼妓の自由廢業の勸め」といふトラクトがあるさうですが、是非入用に付二三十部大至急頂戴致し度、此段御願申上ます。會の隆盛と會員諸氏の健康を祝す。

□林田三郎君 （高知）公私娼の存廢問題に就ての議論は、我々に取つては必要がない。併し世の中には國分判らずやがあつて、未だに公娼とは一體何者であつて、其處には何々の弊害が伴ふといふ事を知らぬ者が多い。私娼に至つては尙更の事、それも其の客若しも藝妓に、お前は醜業婦卽ち淫賣婦だ抔と云ふと顏を赤くして怒り出すといふ憾乖だ。それといふのも背男がよく藝妓其者を何とも解する事が出來ぬから、勢ひこんな變な事態になつて了ふものだと思ふ。實に情ないのは彼等である。我等は如斯迷夢裡に彷徨せる幾多の人々を、充分に覺醒さす可き責任がある。而して其處には大なる愉快と、深い滿足が待ちつゝある事を忘れてはならない。

□鶴見鐵太郎君 （本鄕）廓淸雜誌の內容は今更賞讃する譯ではないが、何れの頁も敎育材料たらざるはない。二東三文の屁のやうなこと許り書いてある利益本位の雜誌と比較すると、實に雲泥の差がある。小生は他の雜誌は什うでも、廓淸だけは一册も粗末にせず二卷の六號から整然と保存して置く。終りに諸先生と並に會員諸氏の健在を祈る。

□長瀨一太郎君 （茨城）雜誌廓淸を御送り被下候に難有御禮申上候。由來小生は最も斯る眞面目な好みつゝあるに依り、此上もなき好爾なるものと深く感謝の至りに不堪候。小生も影乍ら貴會の爲め、大に奔走仕る可き心算に有之、何卒專心自愛、益々國家の爲め奮勵せられん事を、遙かに祈り居る次第に候。

編輯の後

□多方會員諸彦に、御傳へ申さなければなりませんのは、伊藤主事が御病氣に冒された事で厶ゐます。主事は平常極めて健やかなので、如何なる不快の時でありましても、ものゝ三日とは病床に就くやうな事がありませんために、二月上旬頃から非常に寒けを感ずると申して居りましたが、例の事務だらうと打捨て置いた爲か、激烈なエンフルエンザに罹り非常な苦痛を受け約三週餘り病床にありました。其後快方に向ひつゝありますが、何分熱の爲めに口中爛く程爛れ、談話する事が困難でありますので、目下引續き静養中で厶ゐますが、一刻も早く全癒の程を祈り下されん事をお願申します。

□轉居なさつた際は、直に御通知なさるゝやう偏にお願申します。從來雜誌不着といふ御申込の大半は、大概此轉居通知御洩れの爲めが多いのでありますから。

□自由廢業勸めのトラクトは、各員から續々御申込みがありますけれども、何れも郵送料を添へずに御請求なさるやうで厶ゐますが、何分とも郵料丈位は御付諾を願ひます（編輯小僧）

大正六年三月一日納本（毎月一回一日發行）
大正六年三月一日發行 一部金七錢

編輯兼發行人 神田區小川小路一丁目三番地 伊藤秀吉

印刷人 小石川區大塚辻町一番地 久保民生

印刷所 京橋區弓町十三番地 千代田印刷株式會社

發行所 芝區三田四國町二番地 廓淸會本部
電話芝五八五五番
振替東京二七〇七二番

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

◉廣告主へ御用の際は必す雑誌「廓清」による旨御申添を乞ふ◉

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他

院長診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話番町六二番　**東洋内科醫院**

院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番　**南湖院**

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎朝　但祭日及日曜及土曜之他

一部定價金七錢

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY